NEC

NEC-102

取扱説明書　'12.5

はじめに

「NEC-102」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

本端末のご使用にあたって

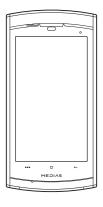
- NEC-102はW-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル･地下･建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所および携帯電話サービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本たっている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- 本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容（連絡先など）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。本端末の故障や交換、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様の端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用になるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 本端末の本来の製品情報を改ざん／削除などを行った場合、お客様の端末の動作が不安定になったりする場合がございます。当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

SIMロック解除

本端末はSIMロックが解除されています。

本体付属品

■本体付属品

NEC-102
（リアカバー含む）

NEC-102セットアップガイド

電池パック N102B

microSDHCカード※
（試供品）

※お買い上げ時には、あらかじめ本端末に取り付けられています。

ACアダプタ N102A

PC接続用microUSBケーブル（試供品）

保証書
（NEC-102本体／ACアダプタ N102A）

本書の見かた

本書の記載について

- 本書では操作手順を以下のように簡略して記載しています。

表記	意味
ホーム画面で[•••]▶「設定」▶「通話設定」	ホーム画面で[•••]をタップする▶「設定」をタップする▶「通話設定」をタップする

- 本書の本文中においては、『NEC-102』を『本端末』と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書で掲載している画面はイメージであるため、実際の画面とは異なる場合があります。
- 本書は、主にお買い上げ時の設定をもとに説明していますので、お買い上げ後の設定の変更によって本端末の表示・操作が本書での記載と異なる場合があります。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

目次

本体付属品 …… 1
本書の見かた …… 2
NEC-102のご利用にあたっての注意事項 …… 5
安全上のご注意（必ずお守りください）…… 6
取り扱い上のご注意 …… 18
防水性能 …… 23

ご使用前の確認と設定 P.29
各部の名称と機能 29
UIMカードについて 31
microSDカードについて 32
電池パックについて 33
充電のしかた 34
電源を入れる／切る 36
画面の表示方向を切り替える 37
基本操作 37
初期設定 39
ホーム画面 42
ステータスバーを利用する 44
アプリケーション一覧画面 46
検索機能を使う 49
タスク管理 50
文字入力 50

電話 P.55
電話をかける／受ける 55
通話履歴 57
連絡先（電話帳）....58

各種設定 P.60
無線とネットワーク 60
通話設定 64
音 65
表示 65
ecoモード 66
現在地情報とセキュリティ 66
アプリケーション 68
アカウントと同期 68
プライバシー 69
ストレージ 69
検索 69
言語とキーボード 70
音声入出力 70
ユーザー補助 71
日付と時刻 71
端末情報 71

メール／ブラウザ P.72
Eメール 72
Gmail™ 73
SMS 75
Google トーク™ 76
ブラウザ 77

マルチメディア P.80	カメラ ....80 ギャラリー ....82 ミュージックプレイヤー 83
ファイル管理 P.85	赤外線通信 ....85 Bluetooth®通信 ....86 パソコン接続 ....86 PC Linkを利用する 87
アプリケーション P.88	Google Play™ ....88 GPS ....90 ワンセグ ....93 時計 ....96 カレンダー ....97 電卓 ....98 Quickoffice 98
海外利用 P.99	海外でご利用になる前の確認 ....99 海外で利用するためのネットワークの設定 ....99 滞在先で電話をかける／受ける 100
付録／索引 P.101	トラブルシューティング（FAQ） ....101 保証とアフターサービス ....105 ソフトウェアを更新する ....107 主な仕様 ....109 携帯電話機の比吸収率（SAR）などについて ....111 輸出管理規制について ....114 知的財産権について ....114 索引 117

NEC-102のご利用にあたっての注意事項

- Android™ 向けアプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 本端末では、マナーモードに設定中でも、着信音や各種通知音を除く音（動画再生、音楽の再生、アラームなど）は消音されません。
- 本端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます。→P.107
- microSDカードや本端末の容量がいっぱいに近い状態のとき、起動中のアプリケーションが正常に動作しなくなる場合があります。そのときは保存されているデータを削除してください。
- 紛失に備え、画面ロックのパスワードを設定し本端末のセキュリティを確保してください。→P.66
- Google™ が提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。また、その他のウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- 万が一紛失した場合は、Google トーク、Gmail、Google PlayなどのGoogle サービスや、Twitter、mixiなどのサービスを他人に利用されないように、パソコンより各種アカウントのパスワードを変更してください。
- Wi-Fiアクセスポイントの初期設定では、セキュリティは設定されておりません。必要に応じて、セキュリティを設定してください。
- ご利用の料金プランにより、Wi-Fiアクセスポイントご利用時のパケット通信料が異なります。パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- Wi-Fiアクセスポイントをご利用中のパケット通信は、Wi-Fi対応機器が接続されていない状態でも、すべてのパケット通信（ブラウザやメールなどを含む）が「パソコンなどの外部機器を接続した通信」となります。Wi-Fiアクセスポイントは「パソコンなどの外部機器を接続した通信」の料金をご確認のうえ、ご利用ください。
- ご利用時の料金など詳細については、販売元へご確認ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1. 本端末、電池パック、アダプタの取り扱いについて（共通）……… P.7
2. 本端末の取り扱いについて ……… P.8
3. 電池パックの取り扱いについて ……… P.10
4. アダプタの取り扱いについて ……… P.11
5. 医用電気機器近くでの取り扱いについて … P.13
6. PC接続用microUSBケーブル（試供品）の取り扱いについて ……… P.15
7. microSDHCカード（試供品）の取り扱いについて ……… P.17

1. 本端末、電池パック、アダプタの取り扱いについて（共通）

⚠危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。
防水性能については下記をご参照ください。
→P.23「防水性能」

指示

本端末に使用する電池パックおよびアダプタは、本端末の付属品を使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片､鉛筆の芯など)を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
- **電源プラグをコンセントから抜く。**
- **本端末の電源を切る。**
- **電池パックを本端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

本端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらゲームやワンセグ視聴などを長時間行うと本端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

2.　本端末の取り扱いについて

⚠警告

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に悪影響を及ぼす原因となります。

禁止

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。
赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末内のUIMカードスロットやmicroSDカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。
ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で本端末が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

スピーカーを「ON」にして通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部には保護フィルム、カメラのレンズの表面にはプラスチックパネルを使用し、ガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠注意

ディスプレイの表面に、落下や衝撃などにより破損した場合の安全性確保を目的（強化ガラスの飛散防止）とする保護フィルムがあります。この保護フィルムは無理にはがしたり、傷つけたりしないでください。

保護フィルムをはがして使用した場合、ディスプレイが破損したときに、けがの原因となることがあります。

アンテナ、ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。
本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

本端末が破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

リアカバーを取り付けるときは、指を挟まないでください。
けがなどの事故の原因となります。

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
各箇所の材質について→P.14「材質一覧」

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。
視力低下の原因となります。

3. 電池パックの取り扱いについて

■電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

⚠危険

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パックを本端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

火の中に投下しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

⚠警告

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火､環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してから回収を行っている市町村の指示に従ってください。

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

4. アダプタの取り扱いについて

⚠警告

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電の原因となります。

コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れた手でアダプタのコード、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

5. 医用電気機器近くでの取り扱いについて

■本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本端末の電源を切ってください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

■材質一覧

使用箇所		材質	表面処理
外装ケース	ディスプレイ面	ナイロン樹脂	すず蒸着、UVコーティング
	電池面	ナイロン樹脂	UVコーティング
	サイドパーツ	アルミ	アルマイト処理
	ボトムサイドパーツ	PC樹脂	すず蒸着、UVコーティング
ディスプレイパネル		強化ガラス	飛散防止フィルム、UVコーティング
ディスプレイ面パネル／カメラパネル		アクリル、PC複合樹脂	UVコーティング
カメラリング		アルミ	アルマイト処理
ライト／赤外線ポートパネル		PC樹脂	UVコーティング
キー	電源キー	PC樹脂	すず蒸着、UVコーティング
	ボリュームキー	PC樹脂	UVコーティング
リアカバー	表面	PC樹脂	UVコーティング
	止水部	シリコーンゴム	シリコーンコーティング
外部接続端子キャップ	本体	PC樹脂、ポリエステル系熱可塑性エラストマー	UVコーティング
	止水部	シリコーンゴム	シリコーンコーティング
充電端子		ステンレス合金	金メッキ
		ABS樹脂	-
ワンセグアンテナ	上段／中段	ステンレス合金	-
	下段	ニッケルチタン合金	-
	先端キャップ	ABS樹脂	UVコーティング
	根元ヒンジ部／固定部／ネジ	ステンレス合金	-
電池パック収納部	側面	ナイロン樹脂	-
	底面	ステンレス合金	ニッケルメッキ
	UIMカードトレー	POM樹脂	-
	ネジ	ステンレス合金	-
電池端子	電池端子コネクタ本体	LCP樹脂	-
	端子部	りん青銅	金メッキ
電池パック（端子）	電池パック本体	樹脂部：PC樹脂 ラベル：PET樹脂	-
	端子部	ガラスエポキシ樹脂	金メッキ

6. PC接続用microUSBケーブル（試供品）の取り扱いについて

⚠危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

本端末に使用するPC接続用microUSBケーブルは、本端末の付属品を使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

コードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、PC接続用microUSBケーブルには触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

パソコンのUSBコネクタにつないだ状態でPC接続用microUSBケーブルのUSBコネクタ端子をショートさせないでください。また、PC接続用microUSBケーブルのUSBコネクタ端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

PC接続用microUSBケーブルの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止
パソコンのUSBコネクタに抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止
濡れた手でPC接続用microUSBケーブルに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示
使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
- **PC接続用microUSBケーブルを本端末の外部接続端子やパソコンのUSBコネクタ端子から抜く。**
- **本端末の電源を切る。**
- **電池パックを本端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示
PC接続用microUSBケーブルのUSBコネクタ端子についたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示
PC接続用microUSBケーブルをパソコンのUSBコネクタに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示
PC接続用microUSBケーブルをパソコンのUSBコネクタから抜く場合は、PC接続用microUSBケーブルを無理に引っ張らず、パソコン側コネクタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示
長時間使用しない場合は、PC接続用microUSBケーブルをパソコンのUSBコネクタから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示
万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにパソコンのUSBコネクタからPC接続用microUSBケーブルを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示
お手入れの際は、PC接続用microUSBケーブルをパソコンのUSBコネクタから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

⚠注意

禁止
ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止
湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示
子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示
乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

7. microSDHCカード（試供品）の取り扱いについて

⚠危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

異常な音や臭いがしたり、過熱、発煙した時は、すぐにパソコンなどの使用機器および周辺機器のスイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、microSDカードには触らないでください。
再び使用せずに、販売元へお問い合わせください。

⚠注意

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込むと窒息またはけがの恐れがあります。万が一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

禁止

端子部に直接触れたり金属や硬い物をあてたり、ショートさせたりしないでください。
静電気などによりデータが破壊、消失する恐れがあります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

microSDカードは、SDメモリカード規格標準のフォーマット済みです。microSDカードをフォーマットする場合は、microSDカードに記憶されたデータが消失されますので、別にバックアップを取るなどして保管してください。
パソコンおよびSDメモリカード規格非準拠の機器でフォーマットを行うと、データの書き込み、あるいは読み出し、消去ができないなどの異常が発生することがあります。

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- **NEC-102は防水性能を有しておりますが、本端末内部に浸水させたり、付属品に水をかけたりしないでください。**
  電池パック、アダプタは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり有料交換となりますので、あらかじめご了承ください。
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
  端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
  また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **本端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**
  多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
  また、外部接続機器を外部接続端子（イヤホンマイク端子）に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
  傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

本端末についてのお願い

- **タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
  タッチパネルが破損する原因となります。
- **極端な高温、低温は避けてください。**
  温度は5℃～40℃（ただし、36℃以上は風呂場などでの一時的な使用に限る）、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。

- **バイブレータの振動で本端末が火気（ストーブなど）に近づいたり、机から落ちたりしないよう注意してください。**
- **外部接続端子（イヤホンマイク端子）に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
  素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **通常は外部接続端子（イヤホンマイク端子）キャップを閉じた状態でご使用ください。**
  ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- **リアカバーを外したまま使用しないでください。**
  電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- **受話口／スピーカー部分に鋭利な硬いものを入れないでください。**
  本端末の故障、破損の原因となります。
- **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。
- **磁気カードなどを本端末に近づけないでください。**
  キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- **本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

電池パックについてのお願い

- **電池パックは消耗品です。**
  使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの個別提供はしておりませんので、販売元にお問い合わせの上、本端末と電池パックを合わせて交換してください。
- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**
- **電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。**
- **電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。**
  - ・フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - ・電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

  電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
  保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をおすすめします。

目次／注意事項

アダプタについてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃〜35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
  ・湿気、ほこり、振動の多い場所
  ・一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
  故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について
  本端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

① 2.4 ：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
② FH ：変調方式がFH-SS方式であることを示します。
③ 1 ：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
④ ■■■ ：2400MHz〜2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

■Bluetooth機器使用上の注意事項
Bluetooth搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
1.この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
2.万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、販売元にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談して下さい。
3.その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、販売元へお問い合わせ下さい。

無線LANについてのお願い

- **無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。**
- 無線LANについて
  電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 周波数帯について
  WLAN搭載機器が使用する周波数帯は、本端末の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

① 2.4　：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
② DS　：変調方式がDS-SS方式であることを示します。
③ OF　：変調方式がOFDM方式であることを示します。
④ 4　：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
⑤ ▬▬▬　：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

- 利用可能なチャンネルは国により異なります。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
- WLANを海外で利用する場合、ご利用の国によっては使用場所、周波数などが制限されている場合があります。その国の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

■2.4GHz機器使用上の注意事項

Wi-Fi搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1.この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。

2.万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、販売元にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談して下さい。

3.その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、販売元へお問い合わせ下さい。

試供品（PC接続用microUSBケーブル、microSDHCカード）についてのお願い

- **水をかけないでください。**
  PC接続用microUSBケーブル、microSDカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **金属端子部はいつもきれいな状態でご使用ください。**
- **お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- **金属端子部を傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。
- **PC接続用microUSBケーブルの端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
  端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- **PC接続用microUSBケーブルを取り扱うときは、コードを持って本端末をぶら下げたり引っ張ったりしないでください。**
- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **次のような場所では、充電しないでください。**
  ・湿気、ほこり、振動の多い場所
  ・一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- **充電中、PC接続用microUSBケーブルが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **強い衝撃を与えないでください。また、PC接続用microUSBケーブルのUSBコネクタを変形させないでください。**
  故障の原因となります。
- **microSDカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。**
- **お客様ご自身で、microSDカードに登録された情報内容は、別にバックアップを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **microSDカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**
  故障の原因となります。
- **microSDカード使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。
- **microSDカードにラベルやシールなどを貼った状態で、機器に取り付けないでください。機器への取り付け／取り外しができなくなったり、接触不良が発生したりする原因となります。**
- **microSDカードは、長期間または繰り返しご使用になると、データの書き込みや読み込みなどのご使用ができなくなったり、遅くなったりする場合があります。**
- **試供品は無料交換保証の対象外となっております。**

注意

- **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**
  本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク㊦」が本端末の銘版シールに表示されております。本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
  運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
  ソフトウェアの改造とみなし無料交換をお断りする場合があります。

防水性能

NEC-102は、外部接続端子キャップを閉じ、リアカバーをしっかりと取り付けた状態でIPX5※1、IPX7※2の防水性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5リットル／分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2 IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mのところにNEC-102を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

- 雨の中で傘をささずに通話、ワンセグ視聴ができます（1時間の雨量が20mm程度）。
- 手が濡れているときや本端末に水滴がついているときは、リアカバーの取り付け／取り外し、外部接続端子キャップの開閉はしないでください。
- 洗面器などに張った常温の水道水につけて、静かに振り洗いをしたり、蛇口から弱めに流れる水道水を当てながら手で洗うことができます。
  - リアカバーをしっかり取り付けた状態で、外部接続端子キャップが開かないように押さえたまま洗ってください。
  - 洗うときは、ブラシやスポンジ、せっけん、洗剤などは使用しないでください。
  - 送話口や受話口／スピーカーに蛇口の水を直接当てないでください。
- プールの水や海水に浸けたり、落下させたりしないでください。
- 風呂場で使用できます。ただし、湯船には浸けないでください。
  - 温泉やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。
  - 風呂場での長時間のご使用はお避けください。

ご利用にあたって

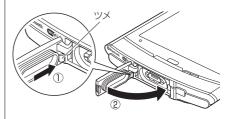
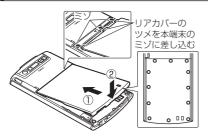
- ご使用前に、外部接続端子キャップ、リアカバーをしっかり閉じ、完全に装着している状態にしてください。微細なゴミ（微細な繊維、髪の毛、砂など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
- 水中で本端末を使用（キー操作など）しないでください。
- 次のイラストのように、常温の水以外の液体などをかけたり浸けないでください。

<例>

せっけん／洗剤／入浴剤　海水　プール　温泉　砂／泥

外部接続端子キャップの開けかた

■閉じかた

図のように、キャップ裏面のツメを①の方向に差し込んだ状態で、②の方向にしっかりとキャップ全体を押し込んで取り付けます。

リアカバーの取り付け

○部分をしっかりと押し、
本端末とすきまがないことを
確認してください。

■取り外し

おしらせ

● リアカバーを取り付ける際は、UIMカードやmicroSDカード、電池パックが確実に取り付けられていることを確認してください。UIMカードやmicroSDカードの挿入が不十分だと、電池パックがUIMカードやmicroSDカードにのり上げ、リアカバーを取り付けた際に、本端末とリアカバーの間にすきまが生じて防水性能を損なう場合があります。

防水機能については2年を目安とし、それ以降のご使用については販売元へお問い合わせください。

重要事項

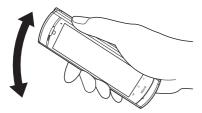
- 外部接続端子キャップまたはリアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外した状態で販売元へご連絡ください。
- 外部接続端子キャップ、リアカバーのゴムパッキンは防水性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。
- 外部接続端子キャップやリアカバーのすきまに、先の尖ったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、浸水の原因となることがあります。
- リアカバーが破損した場合は、リアカバーを交換してください。破損箇所から内部に水が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。寒冷地では凍結し、故障の原因となります。
- 結露防止のため、寒い場所から風呂場などへは本端末が常温になってから持ち込んでください。
- 規定（P.23）以上の強い水流（たとえば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。NEC-102はIPX5の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。
- 洗濯機などで洗わないでください。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 砂浜などの上に直接置かないでください。
  - ・送話口や受話口／スピーカーの穴などに砂が入り、音が小さくなる恐れがあります。
  - ・水滴や砂などが付着したままご使用になると、音が割れる場合があります。
  - ・外部接続端子キャップ、リアカバーに砂などがわずかでも挟まると浸水の原因となります。
- 送話口や受話口／スピーカーなどを綿棒や尖ったものでつつかないでください。防水性能が損なわれることがあります。
- 濡れたまま放置しないでください。充電端子がショートする恐れがあります。
- 本端末は水に浮きません。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水性能の劣化を招くことがあります。
- 送話口や受話口／スピーカーに水滴を残さないでください。水滴が付着していると通話音量や着信音などが小さくなり、音質が悪くなる場合があります。このような場合は、水抜きを行うことで元に戻ります。
- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様のお取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。
- リアカバーをしっかりと取り付けていても、以下の箇所のシールをはがすと、防水性能を損なう恐れがありますので、シールをはがさないでください。

水に濡れたときの水抜きについて

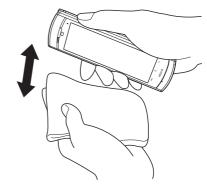
本端末を水に濡らした場合、必ず下記の手順で水抜きを行ってください。

- 送話口や受話口／スピーカーに水滴が付着していると受話音やメロディ音などが小さくなり、音質が悪くなる場合があります。その場合、以下の手順で水抜きを行い、その後十分に自然乾燥させることで元に戻ります。

1 本端末表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取る

2 本端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る

<送話口や受話口／スピーカーの水抜き>

3 送話口や受話口／スピーカーのすきまに溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末を軽く押し当てて拭き取る

・すきまに溜まった水分を綿棒などで直接拭き取らないでください。

4 本端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取る

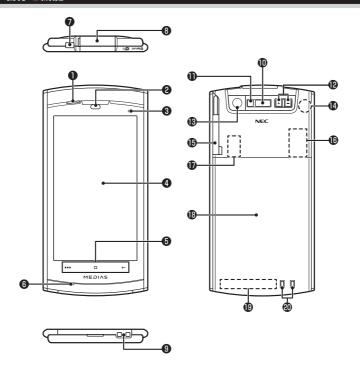
・水を拭き取った後に本端末内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。

充電のときは

付属品は防水性能を有していません。充電時、および充電後には必ず次の点を確認してください。

- 本端末が濡れていないか確認してください。水に濡れた後はよく水抜きをして、乾いた清潔な布などで拭き取ってから充電してください。
- 充電後はしっかりとキャップを閉じてください。
- 濡れた手でACアダプタなどに触れないでください。感電の原因となります。
- ACアダプタなどは、水のかからない状態で使用してください。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水まわりで使用しないでください。火災や感電の原因となります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能

❶受話口（レシーバー）／スピーカー
❷近接／照度センサー
- タッチパネルの誤作動を防ぐため、通話中に顔が近づいたのを検知すると、タップが有効なアイコンを消去します。
- 周囲の明るさを検知して、画面の明るさを自動で調整することができます。→P.65

❸お知らせLED
❹ディスプレイ（タッチパネル）
- ディスプレイに表示された画面をなぞってスクロールしたり、選択したりできます。→P.37

❺タッチキー→P.38
❻送話口／マイク
❼電源キー
- 電源のON／OFFやスリープモードにします。

❽外部接続端子
- 充電時やイヤホン接続時、パソコン接続時などに使用する統合端子です。

❾ストラップ取付穴
❿赤外線ポート
- 赤外線通信に使用します。→P.85

⓫ライト
- カメラ撮影のときに、点灯させることができます。

⓬ボリュームキー
- 音量を調整します。

⓭カメラ
- 動画や静止画撮影のときに使用します。→P.80

⓮GPSアンテナ※
⓯ワンセグアンテナ
- ワンセグを受信します。→P.93

⓰UIMカードスロット
- UIMカードを挿入します。→P.31

⓱microSDカードスロット
- microSDカードを挿入します。→P.32

⓲リアカバー
⓳内蔵アンテナ※
⓴充電端子

※アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

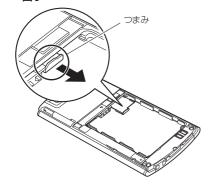
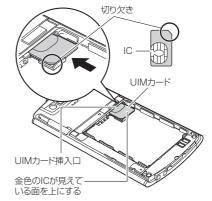
おしらせ

- 市販の液晶保護フィルムをご使用の際は、受話口（レシーバー）／スピーカーや近接／照度センサー、送話口／マイク部分を覆い隠さないようにしてください。誤動作の原因となる場合があります。

UIMカードについて

UIMカードはお客様の電話番号などの情報が記憶されているICカードです。お客様にてご準備していただく必要があります。

- UIMカードの取り付け／取り外しは、電源を切り電池パックを外してから行ってください(P.34)。また、本端末は両手でしっかり持ってください。

1 トレーのつまみを引いてトレーを引き出す

2 UIMカードのIC面を上にして、トレーにのせる

3 トレーを奥まで差し込む

おしらせ

- 無理に取り付け／取り外しを行うと、UIMカードやトレーが破損する恐れがありますのでご注意ください。

microSDカードについて

本端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを本端末に取り込むことができます。

●NEC-102では市販の2GバイトまでのmicroSDカード、32GバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています（2012年5月現在）。
microSDカードの製造メーカや容量など、最新の動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。対応のmicroSDカードは各microSDカードメーカへお問い合わせください。
・http://www.n-keitai.com/
なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

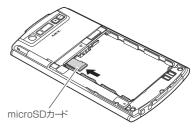
取り扱い上のご注意

フォーマットは必ずNEC-102で行ってください。他の端末やパソコンでフォーマットしたmicroSDカードは、使用できないことがあります。
→P.69

●microSDカードのフォーマットを行うと、microSDカード内の内容がすべて消去されますのでご注意ください。
●microSDカードに保存されたデータは、バックアップを取るなどして別に保管してくださるようお願いします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
●microSDカードのデータにアクセス中は電源を切らないでください。データが壊れたり、正常に動作しなくなることがあります。
●他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、本端末で表示、再生できない場合があります。また、本端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できない場合があります。
●microSDカードの取り付け／取り外しは、電源を切り電池パックを外してから行ってください（P.34）。また、本端末は両手でしっかり持ってください。

■取り付けかた

1 microSDカードスロットにmicroSDカードを差し込み、ロックされるまで押し込む

・microSDカードの金属端子面を下にしてゆっくりとまっすぐに差し込んでください。完全に奥まで押し込むとロックされます。

■取り外しかた

1 **microSDカードを押し込んで手を放す**

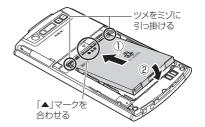
・microSDカードが少し出てきます。このとき、microSDカードが飛び出すこともありますのでご注意ください。

2 **microSDカードの溝の部分を持ち、まっすぐにゆっくりと抜く**

電池パックについて

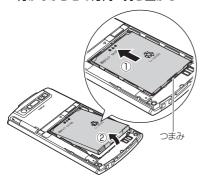
- 本端末専用の電池パック N102Bをご利用ください。
- 電池パックの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。また、本端末は両手でしっかり持ってください。
- リアカバーの取り付け／取り外しについて →P.25

■取り付けかた

1 **製品名の書かれている面を上にして、電池パックのツメを本端末のミゾに引っ掛け、電池パックと本端末の「▲」マーク、金属端子が合うように、①の方向に取り付け、②の方向にはめ込む**

おしらせ

- ツメがミゾに引っ掛かっていない状態で無理に押し込まないでください。ツメが破損する原因となります。

■取り外しかた

❶ 電池パックのつまみを①の方向に押し付けながら②の方向へ持ち上げる

充電のしかた

● お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

■充電について

・ACアダプタ N102AはAC100Vから240Vまで対応しています。
・ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
・コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようにゆっくり確実に行ってください。
・電池パックが空の状態で充電を開始すると、しばらくの間、本端末の電源が入らない場合があります。
・ご使用の状況によっては、電池残量が100%になる前に充電が停止する場合があります。この場合、使用しているすべての機能を終了してから再度充電を行ってください。再充電の際は、本端末を一度ACアダプタ N102AまたはPC接続用microUSBケーブル（試供品）から外し、再度取り付け直してください。

■充電時間（目安）

本端末の電源を切り、電池パックを電池残量のない状態から充電したときの充電時間です。

ACアダプタ N102A	約170分

■十分に充電したときの使用時間（目安）

使用環境や電池パックの状態によって使用時間は異なります。

- ●ワンセグ視聴やGPS機能の使用によって、本端末の使用時間は短くなります。

連続待受時間
3G ・静止時（「自動」設定時）：約340時間 GSM ・静止時（「自動」設定時）：約220時間
連続通話時間
3G：約250分 GSM：約250分
テザリング連続利用時間
3G：約210分
ワンセグ視聴時間
約300分

■電池パックの寿命について

- ・電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- ・電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- ・充電しながらワンセグの視聴などを長時間行うと、電池パックの寿命が短くなることがあります。

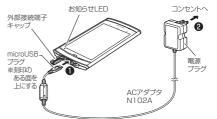
Li-ion00

環境保全のため、不要になった電池パックは販売元またはリサイクル協力店等にお持ちください。

■防水性能に関して

- ・電池パック、ACアダプタは防水性能を有していません。本端末が濡れている状態では絶対に充電しないでください。
- ・充電完了後は外部接続端子キャップを確実に閉じてください。浸水の恐れがあります。

ACアダプタで充電する

- ●ACアダプタ N102Aを使用して充電します。

1 外部接続端子キャップを開け（P.24）、ACアダプタのmicroUSBプラグを本端末の外部接続端子に水平に差し込む

- ・microUSBプラグは、刻印がある面を上にして水平に差し込んでください。

2 ACアダプタのプラグを電源コンセントに差し込む

3 充電が終わったら、microUSBプラグを本端末から水平に取り外し、外部接続端子キャップを閉じる（P.24）

4 ACアダプタを電源コンセントから取り外す

PC接続用microUSBケーブルで充電する

本端末とパソコンをPC接続用microUSBケーブル（試供品）で接続して、本端末を充電することができます。

1 外部接続端子キャップを開け（P.24）、PC接続用microUSBケーブルのmicroUSBプラグを本端末の外部接続端子に水平に差し込む

- microUSBプラグは、刻印がある面を上にして水平に差し込んでください。

2 PC接続用microUSBケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBポートに水平に差し込む

3 充電が終わったら、microUSBプラグを本端末から水平に取り外し、外部接続端子キャップを閉じる（P.24）

4 USBプラグをパソコンのUSBポートから水平に取り外す

おしらせ

- 充電中はお知らせLEDが赤く点灯し、電池残量が90%以上になると緑色で点灯します。充電が完了すると消灯します。
- 電源が切れている状態から充電をはじめると、充電がはじまるまでに時間がかかる場合があります。

電源を入れる／切る

■電源を入れる

1 電源キーを2秒以上押す

- はじめて電源を入れた場合は、初期設定画面が表示されます。→P.39
- ホーム画面が表示されます。→P.42

■電源を切る

1 電源キーを1秒以上押す▶「電源を切る」▶「OK」

スリープモードについて

電源キーを押したり、本端末を一定時間操作しないと、ディスプレイの表示が消えてスリープモードになります。
電源キーを押して、スリープモードを解除できます。

画面ロックについて

電源を入れたり、スリープモードを解除したときは、タッチパネルがロックされています。
[◀▶]を[🔒]までドラッグすると、ロックが解除されます。

画面の表示方向を切り替える

本端末は、本体の縦／横の向きや傾きを感知して自動的にディスプレイの表示方向を切り替えます。

- 表示中の画面によっては、画面表示が切り替わらない場合もあります。
- ディスプレイが地面に対し垂直に近い状態で操作してください。地面に対し水平に近い状態になっていると、画面表示は切り替わりません。
- 画面表示を自動で切り替わらないようにするにはホーム画面で［■■■］▶「設定」▶「表示」の順にタップし、「画面の自動回転」のチェックを外してください。

基本操作

本端末はタッチパネル（ディスプレイ）を指で直接触れて操作します。

■タッチパネル利用上の注意

タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けないでください。
次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。

・手袋をしたままでの操作
・爪の先での操作
・異物を操作面にのせたままでの操作
・保護シートやシールなどを貼っての操作
・タッチパネルが濡れたままでの操作
・指が汗や水などで濡れた状態での操作

タップする

項目の選択や実行を行います。

タッチパネルに触れて、指を離します。

■ロングタッチ

タッチパネルに触れたままにすることで、メニューが表示される場合があります。

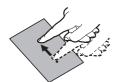
スライドする

表示したい方向に画面を上下左右にスクロールします。

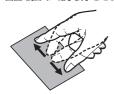
タッチパネルに触れたまま、指を動かします。

■ドラッグ
アイコンなどを指で触れたままスライドすることで、移動することができます。

フリックする

表示したい方向に画面をすばやくスクロールします。

すばやくスライドし指を離します。

2本の指の間隔を広げる／狭める

画面を拡大／縮小表示させます。

2本の指でタッチパネルに触れ、2本の指の間隔を広げる／狭めるようにスライドします。

タッチキーについて

タッチキー（[▪▪▪][□][←]）では主に以下の操作を行うことができます。

- [▪▪▪]：表示している画面で行えるメニューを表示します。検索や設定、削除など、表示している画面によって、メニューが表示されます。
- [□]：ホーム画面を表示することができます。機能を利用しているときにホーム画面に戻ることができます。また、ロングタッチすることで、タスク管理を行うことができます。
- [←]：一つ前の画面に戻ります。直前の画面に戻りたいときなどに利用します。

初期設定

はじめて電源を入れたときの設定

本端末の電源をはじめて入れたとき、以下の設定が必要になります。

1. 初期設定画面が表示されたら言語をタップ▶「次へ」
2. 表示内容を確認▶「次へ」
3. Googleの位置情報サービスを利用する場合は､チェックを入れる▶「同意する」▶「次へ」
4. GPS機能を利用する場合は、チェックを入れる▶「同意する」▶「完了」

アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイントを設定する必要があります。

- あらかじめ登録されている場合があります。その場合は、本設定は不要です。

1. ホーム画面で[▪▪▪]▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」
2. [▪▪▪]▶「新しいAPN」
3. 「名前」▶作成するネットワークプロファイルの名前を入力▶「OK」
4. 「APN」▶アクセスポイント名を入力▶「OK」
5. その他、通信事業者によって要求されている項目を入力▶[▪▪▪]▶「保存」
6. 利用するアクセスポイントのラジオボタンをタップ
   ・ステータスバーに3Gが表示されたら設定完了です。

おしらせ

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、初期設定にリセットするか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

アクセスポイントを初期化する

- アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1. ホーム画面で[▪▪▪]▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」
2. [▪▪▪]▶「初期設定にリセット」

Wi-Fi設定

Wi-Fiは、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントを利用して、メールやインターネットを利用する機能です。

■Bluetooth機器との電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- 本端末やワイヤレス接続するBluetooth機器は、無線LANと10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、ワイヤレス接続するBluetooth機器の電源を切ってください。

Wi-FiをONにしてネットワークに接続する

1 ホーム画面で[•••]▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」

2 「Wi-Fi」にチェックを入れる

- 自動的にWi-Fiネットワークのスキャンが開始され、利用可能なWi-Fiネットワークの名称が一覧表示されます。

3 接続したいWi-Fiネットワークの名称をタップ

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークに接続する場合は、接続に必要な情報を入力し、「接続」をタップしてください。

Wi-Fi簡単設定でWi-Fiネットワークに接続する

- アクセスポイント対応機器が「らくらく無線スタート」、「WPS」に対応している場合、アクセスポイントに接続するために必要なESSIDやセキュリティ方式などを、簡単な操作で設定することができます。

1 ホーム画面で[•••]▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」

2 「Wi-Fi」にチェックを入れる

3 「Wi-Fi簡単設定」▶「らくらく無線スタート」／「WPS」

■らくらく無線スタートの場合

- アクセスポイントのPOWERランプが緑色に点滅するまで「らくらくスタート」ボタンを押し続けてください。
- アクセスポイントのPOWERランプがオレンジ色に点灯するまで、もう一度「らくらくスタート」ボタンを押し続けてください。
- ステータスバーに[Wi-Fiアイコン]が表示されたら、Wi-Fiネットワークを利用できます。

■WPSの場合

- 「プッシュボタン方式」：アクセスポイントの検索がはじまりますので、アクセスポイント本体またはアクセスポイントの設定画面のプッシュボタンを押してください。以降は画面の指示に従って操作を行います。
- 「PINコード入力方式」：アクセスポイントの検索がはじまります。以降は画面の指示に従って操作を行います。
  本端末の画面に「PINコード」（WPS用PINコード）が表示されたら、その番号をアクセスポイントに登録してください。
- ステータスバーに[Wi-Fiアイコン]が表示されたら、Wi-Fiネットワークを利用できます。

Wi-Fiネットワークを手動で追加する

●アクセスポイントの操作については、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

1. ホーム画面で[•••]▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」
2. 「Wi-Fi」にチェックを入れる
3. 「Wi-Fiネットワークを追加」
4. 追加するWi-FiネットワークのネットワークSSIDを入力し、セキュリティ（なし、WEP、WPA/WPA2 PSK、802.1x EAP）を選択
5. 必要に応じて追加のセキュリティ情報を入力▶「保存」

接続中のWi-Fiネットワークを切断する

1. ホーム画面で[•••]▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」
2. 接続中のWi-Fiネットワークをタップ▶「切断」

メールのアカウントを設定する

一般のプロバイダが提供するメールアカウントを設定すると、Eメールを利用できるようになります。

●あらかじめご利用のサービスプロバイダから設定に必要な情報を入手してください。

1. アプリケーション一覧画面で「メール」

   ■アカウントを追加で設定する場合

   ▶[•••]▶「アカウント」▶[•••]▶「アカウントを追加」
2. メールアドレスとパスワードを入力▶「次へ」
   - ・プロバイダ情報がプリセットされているメールアカウントの場合は、送信／受信メールサーバーの設定が自動で行われます。
   - ・プロバイダ情報がプリセットされていないメールアカウントの場合は、手動で設定する必要があります。設定については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。
3. アカウント名、ユーザー名を入力▶「完了」

Googleなどのアカウントを設定する

Googleのアカウントを設定することで、GmailやGoogle Playを利用できるようになります。

1. ホーム画面で[•••]▶「設定」▶「アカウントと同期」▶「アカウントを追加」
2. アカウントの種類をタップ
3. 画面に従ってアカウントを設定する

ホーム画面

ホーム画面はアプリケーションを使用するためのスタート画面で、[ロ]をタップして呼び出すことができます。

■ホーム画面のページを切り替える

▶右または左にホーム画面をフリック

■ホーム画面のサムネイルを利用する

▶▦をロングタッチ

- サムネイルをタップして、ページを移動できます。
- サムネイルをロングタッチして、ホーム画面を並べ替えることができます。

アプリケーションのショートカットをホーム画面に追加する

1. ホーム画面をロングタッチ

2. 「ショートカット」

   ■ウィジェットを追加する

   ▶「ウィジェット」

3. 追加したいアプリケーションをタップ
   - ホーム画面にアプリケーションのショートカットが追加されます。

ショートカットを移動する

1. ホーム画面で移動したいショートカットをロングタッチ

2. 移動したい位置までドラッグし、指を離す
   - 他のページにショートカットを移動するときは、画面の右端または左端にショートカットをドラッグすると、ホーム画面が左右にページ移動します。

フォルダをホーム画面に作成する

ショートカットをまとめて格納するフォルダや、連絡先のフォルダなどをホーム画面に追加します。

1. ホーム画面をロングタッチ
2. 「フォルダ」
3. 作成するフォルダの種類をタップ

フォルダにショートカットを追加する

- フォルダの種類が「新しいフォルダ」でのみ追加できます。

1. フォルダに追加したいショートカットをロングタッチ
2. ショートカットを追加したいフォルダまでドラッグし、指を離す
   - ・フォルダをタップすると、フォルダが開き、そこからショートカットを選択できるようになります。

フォルダの名前を変更する

1. 名前を変更したいフォルダをタップ
2. タイトルをロングタッチ
3. タイトルを入力▶「OK」

ショートカットやフォルダを削除する

1. 削除したいショートカットやフォルダをロングタッチ
2. 画面下部のゴミ箱アイコンまでドラッグし、指を離す

壁紙を変更する

1. ホーム画面をロングタッチ
2. 「壁紙」▶「ギャラリー」／「ライブ壁紙」／「壁紙」▶設定したい画像をタップ▶「壁紙に設定」
   - ・「ギャラリー」を選択した場合は、壁紙に設定したい画像を選んで、壁紙として使用する箇所を、トリミング枠をドラッグして指定します。「保存」をタップすると、壁紙として設定されます。
   - ・「ライブ壁紙」を選択した場合は、壁紙の種類によっては「設定」をタップして、壁紙の設定を行うことができます。

ステータスバーを利用する

ステータスバーには通知情報を示す通知アイコンと本端末の状態を示すステータスアイコンが表示されます。ステータスバーの左側に通知アイコンが表示され、右側にステータスアイコンが表示されます。

ステータスバー

主なステータスアイコン

アイコン	説明
／／	要充電／電池残量／充電中
※	電波状態
※	国際ローミング中
	圏外
／※	3G通信中／使用可能
／※	GPRS通信中／使用可能
	機内モード設定中
※	Wi-Fi接続中
／	Bluetooth機能ON／対応機器接続中
	データ同期中
	UIMカード未挿入
	アラーム設定中
	通話中にスピーカーON
	マイクミュート設定中
／	マナーモード（バイブレーションON／OFF）
	ecoモードON
	GPS測位中
あ／A／数／Λ／⑨	入力文字種（ひらがな／英文字／数字／顔文字・記号・定型文・文字コード／T9入力）

※Googleのアカウントを設定している（同期している）場合は青色に、設定していない（同期していない）場合は灰色になります。

主な通知アイコン

アイコン	説明
	新着Gmailあり
	新着Eメールあり
	新着SMSあり
	SMS送信失敗
talk	新着インスタントメッセージあり
	カレンダーの予定あり
	アラームがスヌーズ中
	音楽再生中
	セキュリティ設定「なし」のWi-Fiネットワークが存在する
	Bluetooth通信でファイル着信あり
	USB接続中
／	通話中／保留中
	不在着信あり
	データアップロード／送信
	データダウンロード／受信

アイコン	説明
	アプリケーションインストール完了
	インストール済みアプリケーションアップデートあり
	通知アイコンを表示しきれていないとき
	赤外線通信中
	ワンセグ視聴中
	ワンセグ録画中
	MEDIAS NAVIの更新あり
	メジャーアップデート更新あり、更新中
	PC Link接続中
	PC Link利用可能
	PC Linkの確認メッセージあり
	USB PC Linkで接続中
	タップサーチ中
	エラー／警告メッセージあり
	本体に空き容量なし
	Wi-Fiアクセスポイント利用中
／	VPN（PPTP）接続中／切断
	VPN（IPSec／L2TP）接続中

通知パネルを利用する

通知アイコンが表示されたら、通知パネルを開いてメッセージや予定などの通知を確認できます。

1 ステータスバーを下にドラッグする

①タップサーチを利用します。→P.49
②アイコンをタップして、各機能の設定を切り替えます。

／：マナーモード（バイブレーションON／OFF）のON／OFF切替→P.65

：ecoモードの切替→P.66

：GPS機能のON／OFF切替→P.90

：Bluetooth機能のON／OFF切替→P.60

：Wi-Fi機能のON／OFF切替→P.60

：明るさの切替→P.65

：アカウント自動同期のON／OFF切替→P.68

③在圏する事業者名称が表示されます。
④サービスを提供する事業者名称が表示されます。
⑤タップするとチェックを入れた（⑦）通知情報とステータスバーの通知アイコンが消去されます。
⑥不在着信やダウンロードの完了などの情報が表示されます。
⑦消去したい通知にチェックを入れてから⑤をタップすると消したい通知アイコンを個別に消せます。

■通知パネルを閉じる

▶通知パネルの下部を上にドラッグ

アプリケーション一覧画面

アプリケーション一覧画面では、本端末にインストールされているアプリケーションを表示します。

1 ホーム画面で「▦」

アプリケーションを編集する

アプリケーションを並べ替える

1 アプリケーション一覧画面で［•••］▶「並び替え」▶並べ替えたいアプリケーションをロングタッチ

2 移動させたい場所にドラッグし、指を離す▶「完了」

アプリケーションをアンインストールする

1. **アプリケーション一覧画面で[･･･]▶「削除」**
   - 削除可能なアプリケーションには、アイコンの右上に⊖が表示されます。
2. **アンインストールしたいアプリケーションをタップ▶「OK」▶「OK」**
3. **「完了」**

アプリケーションのショートカットをホーム画面に追加する

1. **アプリケーション一覧画面で追加したいアプリケーションをロングタッチ**
   - ホーム画面に切り替わります。アプリケーションのショートカットを置きたい場所にドラッグし、指を離します。

アプリケーション一覧

アプリケーション	説明
音楽	→P.83
音声検索	音声を認識し、ブラウザでGoogle 検索TMを行います。
カメラ	→P.80
カレンダー	→P.97
ギャラリー	→P.82
検索	→P.49
設定	→P.60
ダウンロード	ブラウザでダウンロードしたファイルの履歴を表示します。
ついっぷる	ついっぷるを利用し、Twitterを簡単に利用できます。
テレビ	→P.93
電卓	→P.98
電話	→P.55
トーク	→P.76
時計	→P.96
ナビ	→P.92
ビデオカメラ	→P.80
ブラウザ	→P.77
プレイス	→P.92
ホーム画面切替	ホーム画面を切り替えます。切り替え可能なホームアプリがない場合は、ホーム画面に戻ります。
マップ	→P.91
メール	→P.72
メッセージ	→P.75

アプリケーション		説明
	メッセンジャー	サークル内のみんなとすばやくメッセージを交換することができます。
	連絡先	→P.58
	andronavi	ビッグローブが運営するAndroid 端末向け情報配信サイト「andronavi」を利用できます。
	ATOK	→P.53
	Flash Player Settings	Adobe® Flash® Playerでのアプリケーションの実行方法を設定できます。
	Gmail	→P.73
	Google+™	サークルに登録したユーザーとだけ情報を共有できるソーシャルアプリです。
	Gガイド番組表	地上波テレビやBSデジタル放送の番組表が閲覧できるアプリです。キーワードやジャンルによる番組検索や、ワンセグへの視聴・録画予約も可能です。→P.95
	Latitude	→P.92
	MEDIAS NAVI	メーカーサイト「MEDIAS NAVI」に接続します。
	Playストア	→P.88
	Playムービー	Google Playから映画をレンタルすることができるアプリです。レンタルした映画や端末内の動画をみることができます。
	Quickoffice	→P.98
	YouTube™	YouTubeの動画を再生／アップロードできます。

ウィジェット一覧

ホーム画面にウィジェットを貼り付けることで、以下の機能を利用することができます。

ウィジェット		説明
	音楽（小）	簡易的なミュージックの操作パネルを表示することができます。
	音楽（大）	ジャケット画像などを含めたミュージックの操作パネルを表示することができます。
	カレンダー（近日中の予定）	カレンダーに登録してある近日中の予定が表示されます。
	カレンダー（小）	小さいサイズのカレンダーを貼り付けます。
	カレンダー（大）	大きいサイズのカレンダーを貼り付けます。
	Google検索	検索ボックスを貼り付けます。→P.49
	交通状況	目的地までの渋滞状況を表示します。
	写真フレーム	画像を貼り付けます。
	時計（2都市表示）	現在地の時間と指定した都市の時間が表示されます。

ウィジェット		説明
	時計（アナログ）	アナログ時計を貼り付けます。
	時計（デジタル）	デジタル時計を貼り付けます。
	Google+	Google+の情報を表示することができます。
	Latitude	Latitudeの情報を表示することができます。
	Playストア	Google Playの情報を表示することができます。
	YouTube	YouTubeで検索、閲覧することができます。

おしらせ

- ソフトウェアの更新を行うと、アプリケーション／ウィジェットの内容やアイコンの位置が変わることがあります。

検索機能を使う

本端末内の連絡先やアプリケーションを検索したり、ウェブ検索をすることができます。

- 検索の設定について→P.69

1 アプリケーション一覧画面で「検索」

2 検索する文字を入力▶「実行」

- 検索結果が表示されます。
- 検索する文字を入力すると、検索候補が表示されます。検索候補を選択して検索を実行することができます。
- 検索候補からアプリケーションをタップすると、アプリケーションが起動します。

■音声で検索する

▶「 」▶マイクに向かって検索語をはっきりと発声する

タップサーチを利用する

画面上に検索したい文字がある場合に、文字をタップすることで検索を行うことができます。

1 通知パネルを開いて「 」

2 画面上の検索したい文字をタップ▶「OK」

- テキストボックスをタップして、文字を編集して検索できます。

おしらせ

- タップサーチの文字認識条件は以下のとおりです。
  - 認識可能な文字種類：白背景に黒文字で書かれた漢字・英字・カタカナ
  - 推奨文字サイズ：20～40ドット

ご使用前の確認と設定

おしらせ

- アプリケーションによってはタップサーチモードにすると、画面を正しく表示できないことがあります。

タスク管理

起動中のアプリケーションを表示し、操作画面に切り替えることができます。また、不要なアプリケーションを終了させることもできます。

1 ［ロ］をロングタッチ

・起動中のアプリケーションが表示されます。

■アプリケーションを終了する

▶「×」

■すべてのアプリケーションを終了する

▶「全てのアプリを終了する」▶「はい」

2 表示したいアプリケーションをタップ

おしらせ

- 複数のアプリケーションが同時に起動していると、電池の消耗が早くなる他、端末が不安定になりアプリケーションが強制終了したり、動作速度が低下することがあります。

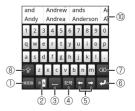
ご使用前の確認と設定

文字入力

本端末では、ディスプレイに表示されるキーボードで文字を入力します。テキストボックスをタップすると、キーボードが表示され、文字が入力できます。

- キーボードには以下の2種類のキーボードがあります。

■QWERTYキーボード

パソコンのキーボードと同じ配列のキーボードです。日本語はローマ字で入力します。

■テンキーキーボード

携帯電話で一般的なキーボードです。

①		／：QWERTYキーボード／テンキーキーボードを切り替えます。 (^_^) #!?" 定型文 文字コード →P.53
	後変換	ひらがな／カナ／英字などに文字を変換します。
	カナ英数	テンキーキーボードのとき、カナ／英数などに文字を変換します。 半角／全角の切り替えもできます。
②	あA あA1	入力する文字種を切り替えます。 ロングタッチするとATOKメニューが表示されます。 [ATOKメニュー] ・「ATOKの設定」：「文字入力に関する設定を行う」→P.53 ・「単語登録」：単語を登録します。登録した単語は文字変換時に利用できます。
③		空白を入力します。
	変換	入力文字の変換を行います。
④	記号	キーボードを記号入力に切り替えます。
⑤	／	カーソルを移動します。変換時は変換範囲を変更します。
⑥		改行の入力、入力文字を確定します。
	次へ	連絡先など次のテキスト入力欄があるときに、入力を完了し次の項目に移動します。
	実行	ウェブページや検索ワードの入力のときなどに、入力したテキストボックスの機能を実行します。
⑦		カーソル位置の左の文字を削除します。 テンキーキーボードでは「文字削除キー」(P.53) で右の文字を削除 (CLR) にすることもできます。
⑧		1回タップすると次に入力する文字が大文字になり ()、2回タップすると大文字に固定します ()。一部記号も入力できます。
⑨		1つ前の文字を表示（逆順）します。
	戻す	1つ前の操作を取り消します。
⑩	-	文字入力時に予測候補が表示され、タップして文字を入力することができます。 ・左右にスライドすると、その他の変換候補を表示します。 ・上下にフリックすると、変換候補の表示枠が広がります。

テンキーキーボードの入力方式を選択する

テンキーキーボードで文字を入力するときの入力方式を選択します。

1 **文字入力画面であA／あA1をロングタッチ▶「ATOKの設定」▶「入力方式」**

2 **「ケータイ入力」／「ジェスチャー入力」／「フリック入力」／「T9入力」**

■ケータイ入力

入力したい文字が割り当てられているキーを、目的の文字が表示されるまで続けてタップします。

■ジェスチャー入力

入力したい文字が割り当てられているキーをタップしたままにすると、キーのまわりにジェスチャーガイド（文字）が表示されます。タップした指をそのまま目的の文字までスライドします。
また、タップした指を下に1回または2回スライドすることで、濁音／半濁音／小文字のジェスチャーガイドを表示できます（英字入力時は、大文字／小文字を切り替えます）。
例：「ぱ」を入力する場合

■フリック入力

入力したい文字が割り当てられているキーをタップしたままにすると、キーの上にフリックガイド（文字）が表示されます。タップした指をそのまま目的の方向にフリックします。
また、フリック入力後゛゜小を1回または2回タップして、濁音／半濁音／小文字を入力できます。

■T9入力

入力したい文字が割り当てられているキーを1回ずつタップし、表示された予測候補の中から目的の文字を選択して入力します。
例：「春」を入力する場合
▶「は」「ら」とタップ

予測候補に「春」と表示されるのでタップします。

- 目的の文字が予測候補にないときは、読み編集をタップして、読みを入力します。
- 濁音／半濁音を入力する場合は、゛゜をタップします。
- 英語と日本語を切り替えるときは英語／日本語をタップします。
- 漢字かなをタップして、予測候補の表示を「漢字／かな」に切り替えることができます。

「変換」に「はる」の候補が表示されるので、「春」をタップします。「予測」には「はる」からの予測候補が表示されます。

- 変換範囲を変えたい場合は、←範囲／範囲→をタップします。

顔文字／記号パレットで入力する

1 文字入力画面で「▦」

2 「(^_^)」／「#!?"」

・キーボードに該当のパレットが表示されます。

■**定型文／文字コードから入力する**

▶「定型文」／「文字コード」

■**連絡先のデータを引用する**

▶「」▶「電話帳／ATOKダイレクト」▶連絡先をタップ▶引用したい項目にチェックを入れる▶「OK」

文字入力に関する設定を行う

キー操作時の操作音やバイブレーション、文字のサイズなど文字入力に関する設定を行います。

1 文字入力画面で あA ／ あA1 をロングタッチ▶「ATOKの設定」

2 以下の項目から選択

入力方式→P.52

入力補助

キー操作音……操作時に操作音が鳴るように設定します。

キー操作バイブ……操作時に振動するように設定します。

トグル入力……ジェスチャー入力、フリック入力時でもケータイ入力ができるように設定します。
「自動カーソル移動を行う」にチェックを入れると、入力方式がケータイ入力のときに、一定時間入力をしないと、カーソルを右に移動するように設定します。カーソルが移動するまでの早さも設定します。「ジェスチャー／フリック入力時にもケータイ入力を有効にする」にチェックを入れていると、ジェスチャー入力、フリック入力でも自動カーソル移動を行います。
自動カーソル移動の設定は「入力方式」の設定ごとに変更されます。

文字削除キー……文字削除時、カーソルの左の文字を削除（「バックスペース（⌫）」）するか、右の文字を削除（「クリア（CLR）」）するかを設定します。

数字テンキー……テンキーキーボードのとき、数字のキーボードを利用するかしないかを設定します。

ジェスチャーガイド……ジェスチャー入力時にジェスチャーガイドを表示するかどうかを設定します。チェックを入れるとガイドが表示され、ガイドが表示されるまでの早さを設定できます。

フリックガイド……フリック入力時にフリックガイドを表示するかどうかを設定します。

フリック感度……フリック入力で文字を打つときの文字選択の感度を設定します。

修飾キーフリック……フリック入力時に濁音／半濁音を、゛゜小のフリック操作で入力できるように設定します。

切り替え時は英字……テンキーキーボードからQWERTYキーボードに切り替えたときに、英字になるように設定します。

英字は確定入力……英字で文字を入力するときに、文字を確定した状態で入力するように設定します。

数字キー表示（縦画面）……縦画面でQWERTYキーボードを表示するときに、数字キーを表示するように設定します。非表示にした場合はフリック操作で数字などを入力します。

数字キー表示（横画面）……横画面でQWERTYキーボードを表示するときに、数字キーを表示するように設定します。非表示にした場合はフリック操作で数字などを入力します。

スペースは半角で出力……日本語入力時にもスペースを半角で入力するように設定します。

自動スペース入力……英字入力時に単語を確定すると自動的にスペースを挿入するように設定します。

文字削除フリック……⌫／CLRを上や左にフリックしたときに、文字をまとめて削除する機能を有効にするかどうかを設定します。

自動全画面化（横画面）……横画面のとき、文字入力欄を自動的に全画面表示にするかどうかを設定します。

変換・候補

推測変換……文字入力時に推測候補を表示するよう設定します。

未入力時の推測候補表示……入力を確定（変換）した文字に続く単語を推測して、候補を表示するように設定します。推測変換にチェックが入っている場合に選択できます。

学習データの初期化……学習データ、顔文字・記号入力パネルの履歴を初期化します。

ユーザー辞書・定型文

辞書ユーティリティ……ユーザー登録単語データの管理をします。

定型文ユーティリティ……ユーザー定型文データの管理をします。

画面・表示

テーマ……キーボードのデザインを設定します。

キーサイズ……キーボードのサイズを設定します。

文字サイズ……変換候補の文字サイズを設定します。

表示行数（縦画面）……縦画面表示での変換候補の表示される行数を設定します。

表示行数（横画面）……横画面表示での変換候補の表示される行数を設定します。

設定の初期化……ATOKの設定をお買い上げ時の状態に戻します。学習データや追加したユーザー辞書の単語、定型文は初期化されません。

日本語入力システム ATOK……ATOKのバージョン情報を表示します。

電話

電話をかける／受ける

- 音声通話が可能なUIMカードをご利用の場合の操作になります。

電話をかける

1 アプリケーション一覧画面で「電話」

2 電話番号を入力

- 電話番号の入力を間違えた場合は、⌫をタップして入力した番号を消去します。
- 電話番号の前に「186」／「184」を付けると、その発信に限り番号通知／番号非通知で発信します。

■プッシュ信号（ポーズ）を入力する

▶[•••]▶「プッシュ信号（2秒後）」／「プッシュ信号（手動）」

3 「📞」

■通話音量を調整する

▶ボリュームキーを押す

■通話を保留する

▶「保留」

- 保留を解除する場合は「保留解除」をタップします。

■相手の声をスピーカーから流す

▶「スピーカー」

- タップするたびにON／OFFが切り替わります。

■自分の声を相手に聞こえないようにする

▶「ミュート」

- タップするたびにON／OFFが切り替わります。

■Bluetooth機能を利用する

▶「Bluetooth」

- タップするたびにON／OFFが切り替わります。ヘッドセットやハンズフリーに対応したBluetooth機器と接続しているときに利用できます。

4 通話が終了したら「☎」

■緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。
110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。
なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。
また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。

- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。

おしらせ

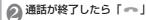
- PIN1コード入力設定を有効に設定している場合、機内モード中に緊急通報をする際は、PIN1コードを入力する操作が必要となります。
- 画面ロックを設定している場合、解除パターン入力画面やPINコード入力画面ではパスワードの入力を行わなくても緊急通報は可能です。それぞれの入力画面で「緊急通報」をタップしてください。「緊急通報」画面が表示され、緊急電話番号にだけ電話をかけることができます。
- 日本国内では、音声対応のUIMカードを取り付けていない場合、緊急通報110番／119番／118番に接続できません。
- 日本国内では、電源ON時のPINコード入力画面から「緊急通報」をタップしても、緊急通報110番／119番／118番に接続できません。PINコードについて詳しくは「本端末で利用する暗証番号」（P.67）を参照してください。

電話を受ける

1. **電話がかかってきたら を（右側）にドラッグ**

■着信を拒否する

▶ を（左側）にドラッグ

2. **通話が終了したら「 」**

通話履歴

電話の発着信履歴を確認できます。

❶ アプリケーション一覧画面で「電話」▶「通話履歴」

①発信や着信をした相手の名前などが表示されます。
②電話を発信します。
③履歴アイコンが表示されます。
　：発信した履歴
　：着信した履歴
　：不在着信履歴
④同じ相手との履歴が連続している場合、まとめて表示され、になります。括弧内の数字は履歴件数です。

■通話履歴の電話番号を連絡先に登録する

▶登録したい履歴をロングタッチ▶「連絡先に追加」▶「連絡先を新規登録」▶必要な項目を入力▶「保存」
- 複数のアカウントを登録している場合は、登録するアカウントを選択します。
- すでに登録されている連絡先に登録する場合は、連絡先を選択します。

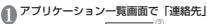
■履歴を削除する

▶［･･･］▶「通話履歴を全件消去」▶「OK」
- 個別に削除したい場合は、削除したい履歴をロングタッチして、「通話履歴から消去」をタップします。

連絡先（電話帳）

連絡先には電話番号、Eメールアドレス、SNS（Twitter、Facebook、mixi）のアカウント情報などを登録できます。連絡先から簡単な操作で発信したり、SNSの更新情報をチェックできます。

●SNS情報を登録・取得する際に、通信が発生する場合があります。

❶アプリケーション一覧画面で「連絡先」

①連絡先を新規登録します。
名前、電話番号、メールアドレスなど、必要な項目を入力して「保存」をタップします。
・複数のアカウントを登録している場合は、登録するアカウントを選択します。

②選択したグループに所属する連絡先を表示します。

③キーワードを入力して、連絡先を検索します。

④自分のプロフィール（マイプロフィール）が表示されます。
をタップしてマイプロフィールを編集したり、Twitter、Facebook、mixiのアカウント登録ができます。

⑤連絡先（プロフィール）を表示します。→P.59

⑥登録したSNSのアイコンを表示します。

⑦統合した連絡先（P.59）にアイコンが表示されます。

⑧タップまたはドラッグしたインデックスにジャンプします。

⑨画像を選択して表示されたアイコンをタップし、電話をかけたり、メールを作成したり、SNSのサイトへ移動することができます。

⑩通話履歴を表示します。→P.57

⑪電話番号を入力する画面を表示します。→P.55

⑫お気に入りに登録した連絡先や、よく使う連絡先を表示します。
プロフィール画面でお気に入りの登録ができます。

⑬登録した連絡先のSNSの更新情報を確認します。
SNSの情報を更新したり、TwitterやFacebook、mixiのページへ移動することができます。

■連絡先を削除する

▶［▪▪▪］▶「その他」▶「連絡先削除」▶削除したい連絡先にチェックを入れる▶「完了」

・個別に削除したい場合は、削除したい連絡先をロングタッチして、「削除」をタップします。

■連絡先をmicroSDカード／UIMカードにインポート／エクスポートする

▶［▪▪▪］▶「その他」▶「インポート／エクスポート」▶以下の項目から選択

SIMカードからインポート……UIMカードから本端末に連絡先を読み込みます。

SIMカードにエクスポート……本端末からUIMカードに連絡先を保存します。

SDカードからインポート……microSDカードから本端末に連絡先を読み込みます。

SDカードにエクスポート……本端末からmicroSDカードにすべての連絡先を保存します。

表示可能な連絡先を共有……表示可能なすべての連絡先を、Bluetooth通信やメールで送信します。

プロフィール画面を表示する

❶ 連絡先の画面で表示したい連絡先の名前をタップ

①画像と名前を表示します。
画像を選択して表示されたアイコンをタップして、電話をかけたりメールを作成したり、SNSのサイトへ移動することができます。
②連絡先（プロフィール）を編集します。
③☆をタップすることでお気に入り登録のON／OFFを設定できます。
④登録情報を表示します。
表示項目は、登録内容によって異なります。
登録内容によっては、項目をタップまたはロングタッチすることで、電話発信、EメールやSMSの送信、Google マップ™やカレンダーの起動などが使用できます。
⑤連絡の履歴を確認したり、SNSの更新情報を表示します。

おしらせ

- 同じ連絡先（同じ名前やフリガナなど）が複数登録されている場合など、複数の連絡先データを1つにまとめる（統合する）ことができます。
  連絡先を編集する画面で[•••]▶「統合」▶統合する連絡先をタップ
  統合を解除したいときは以下の操作を行ってください。
  連絡先を編集する画面で[•••]▶「分割」▶「OK」

各種設定

無線とネットワーク

機内モードやWi-Fi、Bluetooth機能などの設定を行います。

1 ホーム画面で[•••]▶「設定」▶「無線とネットワーク」

2 以下の項目から選択

機内モード→P.60

Wi-Fi……Wi-Fi機能のON／OFFを設定します。

Wi-Fi設定→P.40

Bluetooth……Bluetooth機能のON／OFFを設定します。→P.62

Bluetooth設定

- **Bluetooth**……Bluetooth機能のON／OFFを設定します。
- **端末名**……Bluetooth通信を行ったときに、相手の機器に表示させる名前を変更します。
- **検出可能**……他のBluetooth機器から、本端末を検出できる状態にします。
- **デバイスのスキャン**……Bluetooth機器を検索します。

Wi-Fiアクセスポイント→P.63

VPN設定→P.64

モバイルネットワーク

- **データ通信を有効にする**……データ通信の有効／無効を切り替えます。
- **データローミング**→P.99
- **アクセスポイント名**→P.39、99
- **ネットワークモード**→P.99
- **ネットワークオペレーター**→P.99

PC Link……PC LinkのON／OFFを設定します。→P.87

PC Link設定

- **PC Link**……PC LinkのON／OFFを設定します。
- **USB PC Link**……USB PC LinkのON／OFFを設定します。→P.87
- **接続URL表示**……接続URLを表示します。
- **ホスト名変更**……接続URLに用いるホスト名を設定します。
- **ユーザー名／Password初期化**……ユーザー名とPasswordを初期化します。

機内モードに設定する

機内モードを設定すると、本端末のワイヤレス機能（電話、パケット通信など）が無効になります。

1 ホーム画面で[•••]▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「機内モード」にチェックを入れる

おしらせ

- 「機内モード」にチェックを入れるとWi-Fi、Bluetooth機能もOFFになりますが、機内モード中に再びONにすることができます。病院、飛行機、電車の優先席付近など、電波の使用を禁止された区域では、Wi-Fi、Bluetooth機能を使用しないでください。

Wi-Fi設定

1 ホーム画面で[▪▪▪]▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」

2 以下の項目から選択

Wi-Fi……Wi-Fi機能のON／OFFを設定します。

ネットワークの通知……Wi-Fiのオープンネットワークを検出したときに通知するかどうかを設定します。

Wi-Fi簡単設定→P.40

Wi-Fiネットワークを追加→P.41

おしらせ

- Wi-Fi機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的に3G／GPRSネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用される場合は、パケット通信料が高額になりますのでご注意ください。

Wi-Fiネットワークのその他の機能を利用する

- あらかじめWi-FiをONにしてください。

1 ホーム画面で[▪▪▪]▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」

2 [▪▪▪]▶以下の項目から選択

スキャン……Wi-Fiネットワークのスキャンが開始され、利用可能なWi-Fiネットワークの名称が一覧表示されます。

優先順位の変更……利用するWi-Fiネットワークの優先順位を変更します。変更したいネットワークの名称をロングタッチして、優先順位を入れ替えます。

詳細設定

Wi-Fiのスリープ設定……Wi-Fiのスリープ設定を行います。
画面消灯後15分間操作を行わないと、Wi-Fiをスリープに設定します。スリープ状態になると、Wi-Fiの接続は解除されますが、画面が点灯すると自動的にアクセスポイントに接続します。
充電時または、常にWi-Fi機能をスリープにしないように設定することもできます。

MACアドレス……MACアドレスが表示されます。

IPアドレス……使用しているIPアドレスが表示されます。

静的IPを使用する……静的IPアドレスを指定してWi-Fiネットワークに接続するかどうかを設定します。チェックを入れると、「IPアドレス」「ゲートウェイ」「ネットマスク」「DNS 1」「DNS 2」が設定できるようになります。静的IPアドレスを使用するには、「IPアドレス」「ゲートウェイ」「ネットマスク」「DNS1」の設定が必要です。

IPアドレス……IPアドレスを設定します。

ゲートウェイ……ゲートウェイを設定します。

ネットマスク……ネットマスクを設定します。

DNS 1……DNS 1を設定します。

DNS 2……DNS 2を設定します。

Bluetooth通信

本端末とBluetooth対応機器を、Bluetooth通信を利用して接続できます。本端末をBluetooth対応のイヤホンなどと接続して、本端末をかばんなどに入れたまま通話をしたり、音楽を聴いたりできます。

- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- 設定や操作方法については、接続するBluetooth対応機器の取扱説明書もご覧ください。

Bluetooth機器取り扱い上のご注意

- 良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。
  - ・他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。本端末と他のBluetooth機器の間に障害物がある場合も、接続可能距離は短くなります。特に鉄筋コンクリートの建物では、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁を挟んで設置した場合、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
  - ・他の機器（電気製品／AV機器／OA機器など）からなるべく離して接続してください（電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください）。近づいていると、他の機器の電源が入っているときには、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります（UHFや衛星放送の特定のチャンネルではテレビ画面が乱れることがあります）。
  - ・放送局や無線機などが近く、正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の場所を変更してください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
  - ・Bluetooth機器をかばんやポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器と本端末の間に身体を挟むと通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。
- Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
  - ・本端末やワイヤレス接続するBluetooth機器は、無線LANと10m以上離してください。
  - ・10m以内で使用する場合は、無線LAN の電源を切ってください。
- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。
  - ・電車内
  - ・航空機内
  - ・病院内
  - ・自動ドアや火災報知機から近い場所
  - ・ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

Bluetooth機器と接続する

本端末と他のBluetooth機器を接続し、データのやり取りを行うには、あらかじめ他のBluetooth機器とペアリング（接続設定）を行い、接続を行います。

- Bluetooth機器によって、ペアリングのみ行うBluetooth機器と、接続まで行うBluetooth機器があります。

●あらかじめ相手のBluetooth機能をONにして、接続可能になっていることを確認してください。

1 ホーム画面で[•••]▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「Bluetooth設定」

2 「Bluetooth」にチェックを入れる▶「デバイスのスキャン」
- デバイスのスキャンが開始され、利用可能なBluetooth機器がリスト表示されます。
- 相手のBluetooth機器から本端末を認識させる場合は、「検出可能」をタップしてください。

3 通信したいBluetooth機器をタップ
- Bluetooth機器によっては、本操作で接続される場合があります。

4 「ペア設定する」またはパスコード（PIN）を入力▶「OK」

■Bluetooth機器の接続を解除する

▶解除したいBluetooth機器をタップ▶「OK」
- ペアリングを解除する場合は、解除したいBluetooth機器をロングタッチして「ペアを解除」または「切断してペアを解除」をタップします。

おしらせ

●Bluetooth機能を使用しないときは、電池の消費を防ぐため、Bluetooth機能をOFFにしてください。

●SCMS-T非対応Bluetooth機器では、Audioデータの種別にかかわらず、音を聞くことができません。

Wi-Fiアクセスポイントとして利用する

Wi-Fi接続によるテザリング機能を利用することができます。本端末をWi-Fiアクセスポイント（親機）として利用することで、Wi-Fi対応機器（子機）でインターネットに接続したり、ゲーム対戦などのサービスを利用できます。

●本機能は日本国内でのみ利用できます。

1 ホーム画面で[•••]▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「Wi-Fiアクセスポイント」▶「Wi-Fiアクセスポイントの設定」

2 「Wi-Fiアクセスポイントを設定」▶「ネットワークSSID」、「セキュリティ」、「パスワード」を設定▶「保存」

■通信チャネルを設定する

▶「その他設定」▶「通信チャネルの設定」▶通信チャネルをタップ▶「保存」

3 「Wi-Fiアクセスポイント」にチェックを入れる▶ご利用上の注意を確認▶「OK」

4 Wi-Fi対応機器（子機）に本端末と同じネットワークSSID、同じセキュリティの設定を行う
- Wi-Fi対応機器（子機）と本端末（親機）が接続します。

おしらせ

●Wi-Fiアクセスポイント利用時に、近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを使用していると、Wi-Fi対応機器（子機）から正しく検索できない場合があります。その場合は通信チャネルを変更してください。

●同時に接続できるWi-Fi対応機器は5台までです。

おしらせ

●お買い上げ時の「セキュリティ」の設定は、「Open」となっております。必要に応じて設定を行ってください。

VPN（仮想プライベートネットワーク）に接続する

VPN（Virtual Private Network）は、企業や大学などの保護されたローカルネットワーク内の情報に、外部から接続する技術です。本端末からVPN接続を設定する場合、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。

VPNを追加する

1 ホーム画面で[•••]▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「VPN設定」

■PPTPを追加する

▶「PPTP」▶「PPTP VPNを追加」▶ネットワーク管理者の指示に従い、VPN設定の各項目を設定▶[•••]▶「保存」

■IPSec／L2TPを追加する

▶「IPSec／L2TP」▶[•••]▶「新規接続」▶キーストアのパスワードを入力▶ネットワーク管理者の指示に従い、VPN設定の各項目を設定▶「完了」

・キーストアのパスワードには任意の文字列を入力します。次回以降キーストアのパスワードを入力するときは同じ文字列を入力します。

VPNに接続する

1 ホーム画面で[•••]▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「VPN設定」

■PPTPで接続する

▶「PPTP」▶接続したいVPNをタップ▶必要な接続情報を入力▶「接続」

■IPSec／L2TPで接続する

▶「IPSec／L2TP」▶接続したいVPNをタップ▶「接続」▶キーストアのパスワードを入力

VPNを切断する

1 通知パネルを開いて、VPN接続中を示す通知をタップ

■PPTPを切断する

▶接続中のVPNをタップ

■IPSec／L2TPを切断する

▶接続中のVPNをタップ▶「切断」▶「OK」

通話設定

国際ダイヤルアシストに関する設定を行います。

1 ホーム画面で[•••]▶「設定」▶「通話設定」

2 以下の項目から選択

国際ダイヤルアシスト設定→P.100

音

マナーモードや着信音などの設定を行います。

1 ホーム画面で[•••]▶「設定」▶「音」

2 以下の項目から選択

マナーモード……公共の場所などで、電話の音などを周囲に出さないように設定します。
・電源キーを1秒以上押して、「マナーモード」をタップしても設定できます。

バイブレータ……電話着信時のバイブレーションを設定します。

音量……着信音やメディア再生音、アラーム音などの音量を設定します。

着信音……電話の着信音を設定します。

通知音……メールなどの通知音を設定します。

タッチ操作音……電話番号の入力時などに利用する、ダイヤルパッドの操作音のON／OFFを設定します。

選択時の操作音……メニュー選択時の操作音のON／OFFを設定します。

画面ロックの音……画面ロック／ロック解除時の操作音のON／OFFを設定します。

入力時バイブレーション……特定の画面操作時のバイブレーションのON／OFFを設定します。

表示

画面の明るさなどの設定を行います。

1 ホーム画面で[•••]▶「設定」▶「表示」

2 以下の項目から選択

画面の明るさ……ディスプレイの明るさを調整します。「明るさを自動調整」にチェックを入れると、周囲の明るさを検知し自動で調整します。

画面の自動回転……本端末の向きに応じて、画面表示を自動で切り替えるかどうかを設定します。

アニメーション表示……画面切り替え時のアニメーションの表示を設定します。

バックライト消灯……画面のバックライトが消灯するまでの時間を設定します。バックライト消灯後約5秒間は、[•••][□][←]をタップして再度点灯することができます。

おしらせ

● 電池残量が少なくなると、省電力のため自動的に「画面の明るさ」が最小に設定されます。

ecoモード

ecoモードに設定すると、電池の消費を抑えることができます。

1. ホーム画面で[•••]▶「設定」▶「ecoモード」

2. 以下の項目から選択

ecoモード……ecoモードを設定します。「オート」に設定すると、「オート設定」で設定した電池残量に応じて、自動でecoモードをONにします。

ecoモードオプション設定……ecoモードにしたときの動作を設定します。

画面の明るさ……ディスプレイを暗くします。

バックライト消灯……画面のバックライトが消灯するまでの時間を設定します。

BluetoothをOFFにする……Bluetooth機能をOFFに設定します。

Wi-FiをOFFにする……Wi-Fi機能をOFFに設定します。

GPS機能をOFFにする……GPS機能をOFFに設定します。

同期を停止する……アプリケーションとの同期を停止します。

ライブ壁紙を停止する……ライブ壁紙を設定していた場合、静止画の壁紙に設定します。

オート設定……ecoモードを「オート」に設定したとき、自動でecoモードをONにする電池残量を設定します。

現在地情報とセキュリティ

セキュリティロックや、位置情報の取得などについて設定します。

1. ホーム画面で[•••]▶「設定」▶「現在地情報とセキュリティ」

2. 以下の項目から選択

無線ネットワークを使用→P.90

GPS機能を使用→P.90

ロック解除セキュリティの設定（変更）……画面ロックを解除するときに使うロック解除セキュリティを設定します。パターンやPIN（暗証番号）、パスワードを設定することができます。

画面ロックセキュリティ……画面ロックを解除するときに、ロック解除セキュリティを入力するように設定します。

PIN設定→P.67

パスワードを表示……パスワード入力時に文字を表示するように設定します。

デバイス管理者を選択……本端末の管理者を有効／無効に設定します。

安全な認証情報の使用……安全な証明書とその他の認証情報へのアクセスを許可します。

- あらかじめ認証情報ストレージパスワードの設定が必要です。

SDカードからインストール……暗号化された証明書をmicroSDカードからインストールします。

パスワードの設定……認証情報ストレージのパスワードを設定します。

ストレージの消去……すべての認証情報を削除して、認証情報ストレージパスワードをリセットします。

本端末で利用する暗証番号

本端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は、「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。

UIMカードのPINを有効にする

電源を入れたときにPIN1コードの入力が必要になるように設定します。

- PIN1コードとは、第三者による無断使用を防ぐため、UIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する暗証番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

1. **ホーム画面で[•••]▶「設定」▶「現在地情報とセキュリティ」▶「PIN設定」**
2. **「PIN1コード入力設定」**

   ■PIN1コードを変更する場合

   ▶「PIN1コード変更」▶現在のPIN1コードを入力▶「OK」▶新しいPIN1コードを入力▶「OK」▶再度新しいPIN1コードを入力▶「OK」

   ・あらかじめ「PIN1コード入力設定」を有効にしておく必要があります。
3. **PIN1コードを入力▶「OK」**

おしらせ

- PIN1コードの入力を3回間違えると、PINロック状態になります。その際は、PINロック解除コード（PUKコード）が必要となります。PINロック解除コードについては、UIMカードの販売元までご連絡ください。PUKコードを10回間違えると、UIMカードがロックされ、本端末が使用できなくなります。その際にも、UIMカードの販売元へご連絡ください。

アプリケーション

アプリケーションの管理に関する設定を行います。

1 ホーム画面で[•••]▶「設定」▶「アプリケーション」

2 以下の項目から選択

提供元不明のアプリ……Google Play以外のサイトやメールなどから入手したアプリケーションのインストールを許可するかどうかを設定します。

アプリケーションの管理……アプリケーションの名前やバージョンなどを確認したり、強制停止、削除などができます。

実行中のサービス……実行中のサービスを表示して、停止や設定変更などができます。

ストレージ使用状況……アプリケーションのストレージ使用状況を表示します。

電池使用量……アプリケーションごとの電池の使用量を確認します。

開発……アプリケーション開発に必要となる各種設定を行います。

アカウントと同期

Twitter、Facebook、Google、mixi、Microsoft® Exchange ActiveSync®などのオンラインサービスのアカウントを設定すると、本端末と各種サービスのサーバーとの間でデータの同期、送受信ができます。自動同期させると、ウェブ上の更新情報が本端末に自動更新されます。

●アカウントの追加について→P.41

1 ホーム画面で[•••]▶「設定」▶「アカウントと同期」

2 以下の項目から選択

バックグラウンドデータ……すべてのアプリケーションが自動的にデータ通信を行うかどうかを設定します。

自動同期……アプリケーションが自動的にデータの同期を行うかどうかを設定します。

おしらせ

●本設定によって、パケット通信料がかかる場合があります。また、チェックを外している状態と比較すると電池が消耗します。

手動で同期を開始する

1 ホーム画面で[•••]▶「設定」▶「アカウントと同期」

2 同期したいアカウントをタップ

■アカウントを削除する

▶削除したいアカウントをタップ▶「アカウントを削除」▶「アカウントを削除」

3 [•••]▶「今すぐ同期」

・同期を中止したい場合は、[•••]をタップして、「同期をキャンセル」をタップします。

おしらせ

<アカウントを削除する>

●最初に設定したGoogle アカウントを削除するには、本端末のデータを初期化する必要があります。→P.69

プライバシー

Android 向けアプリのバックアップ設定や本端末のリセットを行います。

1 ホーム画面で[•••]▶「設定」▶「プライバシー」

2 以下の項目から選択

データのバックアップ……アプリケーションの設定やデータをGoogle サーバーにバックアップします。

自動復元……アプリケーションの再インストール時に、バックアップ済みの設定やデータを復元するように設定します。

データの初期化……本端末内のデータをすべて削除し、お買い上げ時の状態に戻します。「SDカード内データを消去」にチェックを入れると、microSDカード内のデータもすべて削除されます。

ストレージ

microSDカードや本端末の容量を確認したり、microSDカードのフォーマットをすることができます。

1 ホーム画面で[•••]▶「設定」▶「ストレージ」

2 以下の項目から選択

合計容量……microSDカードの容量を確認します。

空き容量……microSDカードの空き容量を確認します。

SDカードのマウント解除/SDカードをマウント……microSDカードを安全に取り外せるように、認識を解除/microSDカードを本端末に認識させます。

SDカード内データを消去……microSDカードをフォーマットします。フォーマットを行うと、microSDカード内の内容がすべて消去されますのでご注意ください。
- あらかじめ「SDカードのマウント解除」を行ってください。

空き容量……本端末の空き容量を確認します。

検索

検索機能（P.49）の設定を行います。

1 ホーム画面で[•••]▶「設定」▶「検索」

2 以下の項目から選択

検索対象……検索対象とするデータの範囲を指定します。

端末上の履歴を消去する……検索ボックスで検索した履歴を削除します。

現在地情報を使用……Google 検索時に現在地情報を利用するように設定します。

google.comで検索……google.comを使用して検索するように設定します。

利用規約……利用規約を確認します。

オープンソースライセンス……オープンソースライセンスを確認します。

言語とキーボード

本端末で使用する言語を変更したり、キーボード操作時の設定を行います。

1. ホーム画面で[•••]▶「設定」▶「言語とキーボード」
2. 以下の項目から選択

言語を選択……本端末で使用する言語を変更します。

単語リスト……任意の単語を辞書に登録し、Android キーボードでの文字入力時に、変換候補として表示させることができます。

Android キーボード……Android キーボード操作時の操作音や入力候補表示などの設定を行います。

ATOK→P.53

音声入出力

音声検索や、テキストから音声への変換機能を設定します。

1. ホーム画面で[•••]▶「設定」▶「音声入出力」
2. 以下の項目から選択

音声認識装置の設定

言語……入力する音声を認識させる言語を設定します。

セーフサーチ……検索結果のフィルタリングを設定します。

不適切な語句をブロック……音声認識の不適切な結果の表示を設定します。

テキスト読み上げの設定

サンプルを再生……音声合成のサンプルを再生します。

常に自分の設定を使用……アプリケーションの設定を「既定のエンジン」「音声データをインストール」「音声の速度」「言語」の設定内容で動作するようにします。

既定のエンジン……テキスト読み上げに使用する音声合成エンジンを設定します。

音声データをインストール……音声合成に必要なデータをインストールします。

音声の速度……テキストの読み上げ速度を設定します。

言語……テキスト読み上げに使用する言語を設定します。

Pico TTS……インストールされている音声合成エンジンについて設定します。

ユーザー補助

操作時に音や振動で反応するユーザー補助アプリケーションの設定を行います。

- お買い上げ時はユーザー補助アプリケーションが登録されていません。「ユーザー補助」を設定するには、あらかじめGoogle Playなどから対応するアプリケーションをダウンロードしてインストールする必要があります。

1. **ホーム画面で[•••]▶「設定」▶「ユーザー補助」**
2. **以下の項目から選択**

ユーザー補助……ユーザー補助機能のON／OFFを設定します。

電源キーで通話を終了……電源キーを押して、通話を終了できるように設定します。ただし、スリープモード中は通話を終了せずスリープモードを解除します。

日付と時刻

本端末の時計に関する設定を行います。

1. **ホーム画面で[•••]▶「設定」▶「日付と時刻」**
2. **以下の項目から選択**

自動……自動で日時を補正するように設定します。

日付設定……手動で日付を設定します。

タイムゾーンの選択……タイムゾーンを手動で設定します。

時刻設定……手動で時刻を設定します。

24時間表示……時計の表示を12時間表示か24時間表示かを設定します。

日付形式……日付の表示形式を設定します。

端末情報

端末の状態を確認したり、ソフトウェアの更新を行います。

1. **ホーム画面で[•••]▶「設定」▶「端末情報」**
2. **以下の項目から選択**

メジャーアップデート→P.107

MEDIAS NAVI……MEDIAS NAVIからの更新通知を受けるように設定します。

端末の状態……電池残量や電話番号などを確認します。

電池使用量……アプリケーションごとの電池の使用量を確認します。

法的情報……オープンソースライセンスやGoogle 利用規約を確認します。

モデル番号……型番を確認します。

ファームウェアバージョン……ファームウェアバージョンを確認します。

ベースバンドバージョン……ベースバンドバージョンを確認します。

カーネルバージョン……カーネルバージョンを確認します。

ビルド番号……ビルド番号を確認します。

メール／ブラウザ

Eメール

一般のサービスプロバイダが提供するメールアカウントを本端末に設定し、パソコンと同じようにEメールを送受信できます。

●「メールのアカウントを設定する」→P.41

Eメールを表示する

1 アプリケーション一覧画面で「メール」

・受信トレイ画面が表示されます。

■受信トレイを更新する

▶[•••]▶「更新」

・新着メールがある場合は受信し、「受信トレイ」に表示されます。

2 読みたいメールをタップ

■Eメールを返信する

▶「返信」／「全員に返信」▶メッセージを入力▶「送信」

■Eメールを転送する

▶[•••]▶「転送」▶「To」に転送先のメールアドレスを入力▶「送信」

■Eメールを削除する

▶「削除」

Eメールを作成して送信する

1 受信トレイ画面で[•••]▶「作成」

2 「To」に送信相手のメールアドレスを入力

■CcやBccを追加する

▶[•••]▶「Cc／Bccを追加」

3 「件名」に件名を入力

4 「メッセージを作成」にメッセージを入力

■添付ファイルを追加する

▶[•••]▶「添付ファイルを追加」▶添付ファイルの種類をタップ▶添付ファイルをタップ

5 「送信」

メールボックスを開く

1 受信トレイ画面で[•••]▶「フォルダ」

・受信トレイや送信トレイなどが表示されます。

■EメールをmicroSDカードにインポート／エクスポートする

▶[•••]▶「インポート／エクスポート」▶「SDカードからインポート」／「SDカードにエクスポート」

Eメールの設定を変更する

1 受信トレイ画面で[•••]▶「アカウントの設定」

■メールアカウントを切り替える

・複数のメールアカウントを設定している場合にメールアカウントを切り替えます。

▶「アカウント」▶切り替えるメールアカウントをタップ

2 設定する項目をタップ

■新着Eメールの通知を設定する

▶以下の項目から選択

メール着信通知……新着Eメールがあることをステータスバーの通知アイコンでお知らせするかどうかを設定します。

着信音を選択……新着Eメールをお知らせする着信音を設定します。

バイブレーション……新着Eメールをお知らせするときの、バイブレーションを設定します。

■新着Eメールの自動確認を設定する

・新着Eメールが届いているかサーバーに自動で確認をするように設定できます。

▶「受信トレイの確認頻度」▶「自動確認しない」または自動確認の間隔を設定する

・一定の間隔でメールサーバーに接続するように設定すると、従量制データ通信をご利用の場合は、新着メールを確認するたびに料金がかかります。

Gmail

Gmailは、Googleのメールサービスです。本端末のGmailを使用して、Eメールの送受信が行えます。

●Gmailを利用するには、Google アカウントを設定する必要があります。→P.41

Eメールを表示する

1 アプリケーション一覧画面で「Gmail」

・メッセージスレッド一覧画面が表示されます。

・Gmailでは、返信ごとにEメールをメッセージスレッドにまとめて表示します。新着Eメールが既存のEメールへの返信メールであれば、それらは同じメッセージスレッドにまとめられます。新規のEメールや、件名を変更した場合は、新しいメッセージスレッドが作成されます。

■アカウントを切り替える

▶[•••]▶「アカウント」▶表示したいアカウントをタップ

■Gmailを更新する

▶[•••]▶「更新」

・本端末のGmailとウェブサイトのGmailを同期させて、受信トレイを更新します。

■Eメールを検索する

▶[•••]▶「検索」▶検索ボックスにキーワードを入力▶「🔍」

2 メッセージスレッドをタップ

・複数のメールがある場合、「X件の既読メッセージ」をタップするとメッセージの一覧が表示されます。読みたいメッセージをタップしてメッセージを確認できます。

・をタップして連絡先の登録や確認ができます。

■Eメールを返信する

▶「 」▶メッセージを入力▶[•••]▶「送信」

・全員に返信する場合は、「 ◀ 」をタップして「全員に返信」をタップします。

■Eメールを転送する

▶「 ◀ 」▶「転送」▶「To」に転送先のメールアドレスを入力▶[•••]▶「送信」

■Eメールを削除する

▶「削除」

Eメールを作成して送信する

1 メッセージスレッド一覧画面で[•••]▶「新規作成」

2 「To」に送信相手のメールアドレスを入力

■CcやBccを追加する

▶[•••]▶「Cc／Bccを追加」

3 「件名」に件名を入力

4 「メッセージを作成」にメッセージを入力

■添付ファイルを追加する

▶[•••]▶「添付」▶添付ファイルをタップ

5 [•••]▶「送信」

メッセージスレッドの管理

1 メッセージスレッド一覧画面でスレッドをロングタッチ

2 以下の項目から選択

開く……メッセージスレッドを開きます。

アーカイブ……メッセージスレッドをアーカイブ（保管）します。アーカイブされたメッセージスレッドは受信トレイに表示されません。

ミュート……メッセージスレッドを非表示にします。

未読にする／既読にする……メッセージスレッドを未読／既読にします。

削除……メッセージスレッドを削除します。

スターを付ける／スターをはずす……メッセージスレッドにスターを付けたり外したりします。

ラベルを変更……メッセージスレッドのラベルを追加／変更します。

迷惑メールを報告……メッセージスレッドが削除され、迷惑メールとしてGoogleに報告されます。

ヘルプ……Google モバイルヘルプページが表示されます。

■アーカイブまたはミュートしたメッセージスレッドを再表示する

メッセージスレッド一覧画面で[•••]▶「ラベルを表示」▶「すべてのメール」

おしらせ

●本端末ではラベルを作成できません。Gmailのウェブサイトで作成してください。

メッセージスレッドをラベルごとに表示する

「ラベルを変更」で設定したメッセージスレッドのみを表示させることができます。

1 メッセージスレッド一覧画面で[•••]▶「ラベルを表示」

メール／ブラウザ

❷ 表示させたいラベルの種類をタップ

・スター（★）の付いたメッセージスレッドや送信済みのメールのみを表示させることもできます。

Gmailの設定を変更する

❶ メッセージスレッド一覧画面で[•••]▶「その他」▶「設定」▶「全般設定」または設定するアカウントをタップ

❷ 設定する項目をタップ

■新着Eメールの通知を設定する

▶「メール着信通知」にチェックを入れる▶「通知するラベル」▶設定するラベルをタップ▶以下の項目から選択

メール着信通知……新着Eメールがあることをステータスバーの通知アイコンでお知らせするかどうかを設定します。

着信音……新着Eメールをお知らせする着信音を設定します。

バイブレーション……新着Eメールをお知らせするときの、バイブレーションを設定します。

最初の新着メールのみ通知……最初の新着Eメールのみを通知し、新着Eメールごとには通知しないように設定します。

SMS

携帯電話番号を宛先にしてテキストメッセージを送受信します。

●音声通話が可能なUIMカードをご利用の場合の操作になります。

❶ アプリケーション一覧画面で「メッセージ」

・メッセージ画面が表示されます。

■SMSを作成して送信する

▶「新規作成」▶「To」に送信先の電話番号、「メッセージを入力」にメッセージを入力▶「送信」

■送受信したSMSを表示する

▶メッセージスレッドをタップ

■SMSを返信する

▶返信したい宛先をタップ▶メッセージを入力▶「送信」

■SMSを転送する

▶メッセージスレッドをタップ▶転送したいSMSをロングタッチ▶「転送」▶「To」に転送先の電話番号を入力▶「送信」

■SMSの電話番号を連絡先に登録する

▶メッセージスレッドをロングタッチ▶「連絡先に追加」▶「連絡先を新規登録」または連絡先をタップ

■SMSをmicroSDカードにインポート／エクスポートする

▶[•••]▶「インポート／エクスポート」▶「SDカードからインポート」／「SDカードにエクスポート」

SMSを削除する

❶ アプリケーション一覧画面で「メッセージ」

■1件削除する
▶メッセージスレッドをタップ▶削除したいSMSをロングタッチ▶「メッセージを削除」▶「削除」

■メッセージスレッドを削除する
▶削除したいメッセージスレッドをロングタッチ▶「スレッドを削除」▶「削除」
・メッセージスレッド内のSMSがすべて削除されます。

■すべてのメッセージスレッドを削除する
▶[•••]▶「スレッドを削除」▶「削除」

■SMSの自動削除を設定する
▶[•••]▶「設定」▶「古いメッセージを削除」にチェックを入れる▶「テキストメッセージの制限件数」▶メッセージスレッドごとの制限件数を入力▶「設定」

おしらせ

●以下の操作でSMSを保護できます。
メッセージ画面でメッセージスレッドをタップ▶保護したいSMSをロングタッチ▶「メッセージをロック」

SMSの設定を変更する

❶ メッセージ画面で[•••]▶「設定」

❷ 設定する項目をタップ

■新着SMSの通知を設定する
▶以下の項目から選択

通知……新着SMSがあることをステータスバーの通知アイコンでお知らせするかどうかを設定します。

着信音を選択……新着SMSをお知らせする着信音を設定します。

バイブレーション……新着SMSをお知らせするときの、バイブレーションを設定します。

Google トーク

Google トークは、Googleのオンラインインスタントメッセージサービスです。Google アカウントを所有する相手とチャット（文字によるおしゃべり）ができます。

●Google トークを利用するには、Google アカウントを設定する必要があります。→P.41

❶ アプリケーション一覧画面で「トーク」

ブラウザ

ブラウザを利用して、ウェブページを閲覧できます。本端末では、パケット通信やWi-Fiによる接続でサイトを利用できます。

ブラウザを起動してウェブページを表示する

1 アプリケーション一覧画面で「ブラウザ」

2 アドレスバーをタップ▶URLまたはキーワードを入力

・アドレスバーにURLまたはキーワードを入力すると、候補リストが表示されます。

■音声検索を行う

▶アドレスバーをタップ▶「 」▶マイクに向かって検索語をはっきりと発声する

3 「→」または候補リストから表示したいウェブページをタップ

おしらせ

●本端末に内蔵されたFlash Playerに対して最新版のアップデートプログラムがインストールされていないとウェブコンテンツを閲覧できない場合があります。Google Play（P.88）に接続の上、Flash Playerの更新情報を確認してください。

ウェブページ表示中の操作

■スクロール

・スクロールしたい方向にスライド→P.38

■拡大／縮小

・拡大／縮小したい箇所を2本の指で広げる／狭める→P.38

・拡大したい部分をダブルタップ（2回続けてタップ）、再度ダブルタップしてもとの表示に戻す

■ウェブページを前後に移動

・ ← で前のページに戻る、 ▪▪▪ ▶「進む」で次のページに進む

ウェブページに含まれる文字を検索する

1 ウェブページ表示中に ▪▪▪ ▶「その他」▶「ページ内検索」

2 検索文字を入力

3 「◀」／「▶」

・前後の一致する文字を表示します。

4 「×」

・検索を終了します。

ウェブページに含まれる文字をコピーする

1. ウェブページ表示中に[•••]▶「その他」▶「テキストを選択してコピー」

2. コピーする文字をドラッグし、◿を開始位置に、◺を終了位置にドラッグ▶選択した文字をタップ

おしらせ

- コピーした文字は、ブラウザの検索ボックスやEメールなど他のアプリケーションに貼り付けることができます。貼り付けたいテキストボックスをロングタッチして「貼り付け」をタップしてください。

ブックマークを利用する

ウェブページをブックマークに登録して、すばやくウェブページを開くことができます。

ブックマークに登録する

1. 登録したいウェブページで[•••]▶「ブックマーク」
   - ・ブックマークがサムネイル表示されます。

2. 「★追加」

3. ブックマークの名前を確認／変更する▶「OK」

ブックマークに登録したウェブページを表示する

1. ウェブページ表示中に[•••]▶「ブックマーク」

   ■よく使うウェブページを表示する
   ▶「よく使用」▶表示したいウェブページをタップ

   ■閲覧履歴からウェブページを表示する
   ▶「履歴」▶表示したいウェブページをタップ

   ■ブックマークをmicroSDカードにインポート／エクスポートする
   ▶[•••]▶「インポート」／「エクスポート」

2. 表示したいブックマークをタップ

おしらせ

- 「よく使用」、「履歴」表示時、ウェブページ名の右側に☆が表示されます。このアイコンをタップして、ブックマークへの追加（☆が金色）／削除（☆が灰色）が行えます。

新しいブラウザウィンドウを開く

最大8つのウェブページを開き、切り替えて表示できます。

1 ウェブページ表示中に[•••]▶「新しいウィンドウ」

・新しいブラウザウィンドウが開き、設定されているホームページが表示されます。

■ウィンドウを切り替える
▶「ウィンドウ」▶表示したいブラウザウィンドウをタップ

ウェブページのリンクを操作する

ウェブページに表示されているリンクから、以下の操作ができます。

■URL
・タップしてウェブページを開きます。
・ロングタッチして、URLをブックマークに登録したり、URLをコピーしたり、新しいウィンドウで表示するなどできます。

■メールアドレス
・タップしてメールを作成します。
・ロングタッチして、メールアドレスをコピーします。

■電話番号
・タップして電話発信します。

ウェブページに表示されている画像を保存する

1 ウェブページ表示中に、保存したい画像をロングタッチ▶「画像を保存」

保存した画像を確認する

1 ウェブページ表示中に[•••]▶「その他」▶「ダウンロード一覧」

2 リストをタップ

ブラウザの設定を変更する

1 ウェブページ表示中に[•••]▶「その他」▶「設定」

2 設定する項目をタップ

■ウェブページを常に横向きで表示する
▶「常に横向きに表示」にチェックを入れる

■ウェブページをダブルタップ（2回続けてタップ）したときの倍率を設定する
▶「デフォルトの倍率」▶「低」／「中」／「高」

■文字サイズを変更する
▶「テキストサイズ」▶「最小」／「小」／「中」／「大」／「最大」

■ホームページを設定する
・新しいブラウザを開いたときに表示されるページを設定します。
▶「ホームページ設定」▶ホームページに設定したいURLを入力▶「OK」

カメラ

■カメラ利用にあたって

- カメラは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、一部に暗く見える点や線、常に明るく見える点や線がある場合があります。また、光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- 撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いておいてください。レンズに指紋や油脂などが付くと、ピントが合わなくなったり不鮮明な画像になったりすることがあります。
- 本端末を暖かい場所に長時間置いていたあとは、画質が劣化することがあります。
- 撮影した静止画や動画は、実際の被写体と明るさや色合いが異なる場合があります。
- レンズ部分に直射日光を長時間当てたり、太陽や明かりの強いランプなどを直接撮影したりしないでください。撮影した画像の色が変色するなど、故障の原因となります。
- 撮影時は、レンズに指や髪、ストラップなどがかからないようにしてください。
- カメラ撮影中は電池の消費量が多くなるため、撮影が終了したら速やかにカメラを終了させることをおすすめします。電池残量が少ない状態でカメラ撮影を行うと、画面が暗くなったり乱れたりすることがあります。
- 手ブレ補正を「OFF」に設定している場合、撮影時に本端末が動くと、画像がぶれる原因となります。なるべく手ブレ補正を「オート」に設定して撮影することをおすすめします。
- 電池残量が少ないとき、撮影した静止画や動画を保存できない場合があります。
- マナーモード設定中でも静止画撮影のシャッター音、動画撮影の開始音／終了音は鳴ります。また、音量を変更することや消去することはできません。

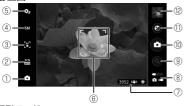
著作権・肖像権について

本端末を利用して撮影または録音などしたものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法はお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。

お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

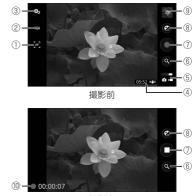
カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

撮影画面の見かた

■静止画

①撮影モード
- 標準：標準の撮影モードです。
- クイックショット：短い時間ですばやく撮影できます。より綺麗に撮影したい場合は、撮影モードを「標準」にしてください。
- 連写：5枚から最大100枚の連続撮影モードです。
- 高感度：暗い場所での被写体のブレを最小限に抑えて撮影します。
- タッチ撮影：タップした位置にピントを合わせ簡単に撮影できます。

②シーン
③オートフォーカス：接写や顔検出などの設定を行うことができます。
④サイズ（画像サイズ）
⑤その他の設定：ライト、画質、手ブレ補正、セルフタイマーなどの設定を行うことができます。
⑥フォーカス枠
⑦撮影可能枚数・手ブレ補正・位置情報取得状態
⑧静止画／動画の切り替え
⑨ズーム
⑩シャッター
⑪明るさ
⑫ギャラリー：撮影した静止画を見ることができます。

■動画

撮影前

撮影中

①オートフォーカス
②サイズ（画像サイズ）
③その他の設定：ライト、画質、手ブレ補正などの設定を行うことができます。
④撮影可能時間・手ブレ補正
⑤静止画／動画の切り替え
⑥ズーム
⑦録画の開始／終了
⑧明るさ
⑨ギャラリー：撮影した動画を見ることができます。
⑩撮影経過時間

カメラで撮影する

カメラで撮影した静止画と動画は、自動的にmicroSDカードに保存されます。microSDカードが挿入されていない場合は、撮影ができません。

静止画を撮影する

1. アプリケーション一覧画面で「カメラ」
2. カメラを被写体に向ける
3. 「」
   - シャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。

動画を撮影する

1. アプリケーション一覧画面で「ビデオカメラ」
2. カメラを被写体に向ける
3. 「」
   - 録画開始音が鳴り、録画が開始されます。
4. 「」
   - 録画終了音が鳴り、録画が終了します。

おしらせ

- 動画撮影中に通知音が鳴ると、通知音が録音される場合があります。

ギャラリー

カメラ撮影やサイトからのダウンロードなどで、microSDカードに保存した静止画／動画を表示／再生します。

- 動画を再生できるファイルは以下のとおりです。H.263（3gp,mp4）、H.264（3gp,mp4）、MPEG-4 SP（3gp）、WMV（wmv,asf）

1. アプリケーション一覧画面で「ギャラリー」
   - 撮影画像やダウンロード画像など、カテゴリー分けして表示されます。
2. いずれかのカテゴリーをタップ
3. 表示したい静止画／動画をタップ
   - をタップすると、撮影日ごとの表示に切り替わります。
   - カテゴリーや静止画／動画をロングタッチして、Bluetooth通信やメールでデータを送信したり、データの削除や詳細情報の確認などができます。

おしらせ

- 保存されている写真の枚数が多い場合、ギャラリー起動時にすべての写真を読み込むのに時間がかかることがあります。
- デジタル著作権管理技術（DRM）で保護されたコンテンツは他の端末と「共有」することはできません。
- デジタル著作権管理技術（DRM）で保護されたコンテンツは「データの初期化」をすると再生できなくなります。

ミュージックプレイヤー

ミュージックプレイヤーを利用して、microSDカードに保存した音楽を再生します。

- ●パソコンからmicroSDカードに音楽データを保存しておいてください。→P.86
- ●再生可能な音楽データのファイル形式は以下のとおりです。
  AAC LC/LTP、HE-AACv1（AAC+）、HE-AACv2（enhanced AAC+）（3gp,mp4,m4a）、AMR-NB、AMR-WB（3gp）、MP3（mp3）、MIDI（mid,xmf,mxmf,imy,rtttl,rtx,ota）、Ogg Vorbis（ogg）、PCM/WAVE（wav）、WMA（wma,asf）

音楽を再生する

1 アプリケーション一覧画面で「音楽」

2 カテゴリーをタップ

- ・「アーティスト」、「アルバム」、「曲」、「プレイリスト」からカテゴリーをタップします。
- ・▪▪▪をロングタッチすることで、文字を入力して検索することもできます。

3 アイテムをタップ

- ・カテゴリーで「曲」を選択した場合は、再生したい曲をタップして曲を再生します。
- ・アイテムをロングタッチして「再生」をタップすると、アイテム内の曲を全曲再生します。

■着信音に設定する

▶曲をロングタッチ▶「着信音に設定」

4 曲をタップ

①ジャケット画像
②曲リスト表示／シャッフル設定／繰り返し再生設定
- ・曲リスト表示では▦をドラッグして曲の順番を入れ替えることができます。

③曲情報
- ・ロングタッチして、各アプリケーションから関連情報を検索することができます。

④曲の先頭に戻るまたは前の曲へスキップ／一時停止／次の曲へスキップ
⑤再生位置を指定

■パーティシャッフルを利用する

▶▪▪▪▶「パーティシャッフル」

- ・すべての曲からランダムに数曲選んで再生します。
  パーティシャッフルにすると⤨が🌐に変わります。

おしらせ

- ●デジタル著作権管理技術（DRM）で保護されたコンテンツは「データの初期化」をすると再生できなくなります。

プレイリストを利用する

プレイリストを作成する

1 アプリケーション一覧画面で「音楽」

2 アーティスト名やアルバム名、曲名をロングタッチ▶「プレイリストに追加」

3 追加したいプレイリストをタップ
- アーティスト名やアルバム名は、選択した項目内にあるすべての曲がプレイリストに追加されます。
- 「現在のプレイリスト」をタップすると、現在再生中の曲の一覧に追加されます。追加した曲は再生画面の ☰ をタップして確認できます。

■プレイリストを新規作成する
▶「新規」▶プレイリスト名を入力▶「保存」
- 新しいプレイリストを作成して、曲を追加します。

プレイリストの再生順を変更する

1 アプリケーション一覧画面で「音楽」▶「プレイリスト」

2 プレイリストをタップ

3 ▦をドラッグ
- ドラッグした位置に曲順が変更されます。

プレイリスト名を変更する

1 アプリケーション一覧画面で「音楽」▶「プレイリスト」

2 変更したいプレイリストをロングタッチ▶「名前を変更」▶プレイリスト名を入力▶「保存」

おしらせ
- ●「最近追加したアイテム」はプレイリスト名の変更はできません。

プレイリストを削除する

1 アプリケーション一覧画面で「音楽」▶「プレイリスト」

2 削除したいプレイリストをロングタッチ▶「削除」

おしらせ
- ●「最近追加したアイテム」は削除できません。

プレイリストから曲を削除する

1 アプリケーション一覧画面で「音楽」▶「プレイリスト」

2 プレイリストをタップ

3 削除したい曲をロングタッチ▶「プレイリストから削除」

ファイル管理

赤外線通信

赤外線通信機能を搭載した他の端末などと、連絡先やマイプロフィールの送受信が行えます。

- 赤外線ポートが平行に向き合うようにしてください。また、機器の間にものを置いたり、赤外線ポートをふさいだりしないでください。
- 赤外線ポートが汚れているときは、傷がつかないように柔らかい布で拭き取ってください。赤外線通信失敗の原因になる場合があります。
- 赤外線の通信距離は約20cm以内でご利用ください。また、通信終了を通知するメッセージが表示されるまで動かさないでください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、その影響により正常に通信できない場合があります。
- 相手側の端末によっては、連絡先の送受信ができない場合があります。

赤外線通信で連絡先を送信する

1. アプリケーション一覧画面で「連絡先」▶送信したい連絡先をタップ
2. [•••]▶「共有」▶「OK」▶「赤外線」
   - 受信側の端末を受信待ち状態にします。
3. 「OK」
   - 赤外線ポートを通信先に向けます。
4. 「OK」

赤外線通信で連絡先を受信する

1. アプリケーション一覧画面で「連絡先」▶[•••]▶「その他」▶「赤外線受信」▶「OK」
   - 送信側の端末を送信状態にします。
   - 赤外線ポートを通信先に向けます。
   - 複数のアカウントを登録している場合は、登録するアカウントを選択します。

   ■1件受信する場合

   ▶「OK」▶「OK」

   ■全件受信する場合

   ▶4桁の認証パスワードを入力▶「次へ」▶「OK」▶「OK」

Bluetooth通信

Bluetooth通信機能を利用して、他のBluetooth機器とワイヤレスでデータの送受信が行えます。

- Bluetooth機器との接続方法について→P.62

Bluetooth通信でデータを送信する

<例：ギャラリーの画像を送信する>

1. アプリケーション一覧画面で「ギャラリー」▶送信したい画像を表示▶ ▶「共有」▶「Bluetooth」
2. 送信先のBluetooth機器をタップ

Bluetooth通信でデータを受信する

1. 送信側からファイルを送信する
   - ・ステータスバーにが表示されます。
2. 通知パネルを開いてBluetoothのファイルの着信通知をタップ▶「承諾」
   - ・通知パネルから受信を確認し、データを登録します。

おしらせ

- Bluetooth機能搭載機器とデータの送受信を行う場合、プロファイルが異なると送受信できない場合があります。

パソコン接続

本端末とパソコンを接続する

本端末とパソコンをPC接続用microUSBケーブル（試供品）で接続します。

- PC接続用microUSBケーブルの抜き差しは、USBプラグを水平にして行ってください。→P.36

おしらせ

- PC接続用microUSBケーブルのUSBプラグはパソコンのUSBコネクタに直接接続してください。USBハブやUSB延長ケーブルを介して接続すると、正しく動作しないことがあります。
- データ転送中にPC接続用microUSBケーブルを取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。

microSDカード内のデータを操作する

PC接続用microUSBケーブル（試供品）で本端末とパソコンなどを接続して、microSDカード内のデータをパソコンから読み書きできます。

1. 本端末を付属のPC接続用microUSBケーブルでパソコンに接続する
2. 通知パネルを開いて「USB接続」▶「カードリーダーモード」▶「OK」▶「OK」
   - ・パソコンを操作して、microSDカード内のデータを表示できるようになります。

PC接続用microUSBケーブルを安全に取り外す

1. 通知パネルを開いて「USBストレージをOFFにする」／「切断確認」▶「OK」
2. PC接続用microUSBケーブルを取り外す（P.36）

PC Linkを利用する

Wi-Fi接続やUSB PC Linkで本端末とパソコンを接続して、パソコンの専用ソフトやブラウザから本端末内のデータを操作することができます。

- 専用ソフトでは以下の操作ができます。
  - ・パソコンのファイルを本端末のmicroSDカードに転送
  - ・本端末の連絡先、メール、ブックマークのインポート／エクスポート
  - ・指定したウェブサイトを本端末で開く
  - ・アプリケーションを本端末で検索
- パソコンのブラウザからは以下の操作ができます。
  - ・本端末の連絡先、ブックマークの閲覧／編集
  - ・本端末のギャラリーの閲覧

専用のソフトでPC Linkを利用する

- あらかじめパソコンに専用のソフトをインストールしてください。専用ソフトのダウンロードや動作詳細については、下記のサイトをご覧ください。
  http://www.n-keitai.com/guide/download/

1 **ホーム画面で[•••]▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「PC Link設定」**

2 **「PC Link」にチェックを入れる▶ホスト名を確認▶「OK」**
   - ・ホスト名を変更する場合は、ホスト名を入力して「OK」をタップします。

3 **端末とパソコンを接続する**
   - ・Wi-Fiで接続する→P.40
   - ・USB PC Linkで接続する→P.87

4 **パソコンで専用ソフトを起動**

5 **ホスト名を入力▶ユーザー名／パスワードを設定**
   - ・本操作はパソコンで行う操作です。
   - ・本操作で入力するホスト名は、操作②で確認したホスト名です。
   - ・本端末の通知パネルに（ユーザー登録通知）が表示されます。

6 **通知パネルを開いて「ユーザー登録通知」▶本端末に表示されたユーザー名と、パソコンで入力したユーザー名が同じか確認▶「はい」▶「OK」**
   - ・パソコンから本端末のデータを操作できるようになります。

■ブラウザでPC Linkを利用する

ホーム画面で[•••]▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「PC Link設定」▶「接続URL表示」を確認し、表示されているURLをパソコンのブラウザのアドレスバーに入力

USB PC Linkで本端末とパソコンを接続する

PC接続用microUSBケーブル（試供品）で本端末とパソコンを接続して、PC Linkを利用できるようにします。

1 **本端末を付属のPC接続用microUSBケーブルでパソコンに接続する**

2 **通知パネルを開いて「USB接続」▶「USB PC Link」▶「OK」**

■PC接続用microUSBケーブルを取り外す→P.86

おしらせ

- 1台のパソコンにUSB PC Linkで接続して認識できる端末は1台のみです。

Google Play

Google Playを利用すると、便利なアプリケーションや楽しいゲームに直接アクセスして、本端末にダウンロード、インストールすることができます。

1 アプリケーション一覧画面で「Playストア」

・はじめて起動したときは、利用規約を確認し、「同意する」をタップします。

おしらせ

- アプリケーションのインストールは、安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染やデータの破壊などが起きる可能性があります。
- 万が一､お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより動作不良が生じた場合、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。この場合、保証期間内であっても有償交換となります。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- アプリケーションによってはインターネットに接続し、自動で通信を行うものがあります。パケット通信料金が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- Google Playについての情報が必要な場合には、Google Playの画面で[•••]▶「ヘルプ」をタップします。

アプリケーションをインストールする

1 Google Playの画面でアプリケーションを検索

2 インストールしたいアプリケーションをタップ

・表示内容をよくご確認の上、画面に従って操作してください。

・お客様がアプリケーションをインストールすることにより、本端末でのこのアプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションには特にご注意ください。

おしらせ

- ダウンロードを停止する場合は、通知パネルを開いてアプリケーションをタップし、[×]をタップします。

アプリケーションを購入する

有料アプリケーションの場合は、ダウンロードする前にアプリケーションの購入が必要です。

- アプリケーションに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードした後、アンインストールしたり再びダウンロードする場合、その都度料金を支払う必要はありません。

❶ Google Playの画面でアプリケーションを検索

❷ 購入したいアプリケーションをタップ

❸ 金額表示欄をタップ

- 表示内容をよくご確認の上、画面に従って操作してください。
- お客様がアプリケーションを購入することにより、本端末でのこのアプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションには特にご注意ください。
- 利用規約画面に表示される「払い戻しポリシー」や「Googleの請求とプライバシーポリシー」など、重要事項についてはリンクをタップし、内容を確認してください。

■返金を要求する

購入後、規定の時間以内であれば返金を要求することができます。アプリケーションは削除され、料金は請求されません。なお、返金要求は、各アプリケーションに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリケーションに対して返金要求をし、同じアプリケーションを再度購入した場合には、返金要求はできません。

アプリケーション購入時の支払い方法や返金要求の規定などについて詳しくは、Google Playの画面で[•••]▶「ヘルプ」▶「Android アプリ」▶「アプリケーションの購入」の各項目をご覧ください。

おしらせ

- クレジットカードによる初回購入時には、Google Checkoutで使用するクレジットカードの情報を入力する必要があります。Google Checkoutは本端末からアプリケーションを購入するための高速、安全、便利な購入手段です。Google Checkoutについて詳しくは、「http://checkout.google.com/」を参照してください。
  また、Google Checkoutの情報は本端末に記録されます。画面ロックを設定し本端末のセキュリティを確保してください。→P.66

アプリケーションを削除する

❶ Google Playの画面で[•••]▶「マイアプリ」

❷ 削除したいアプリケーションをタップ

❸ 「アンインストール」▶「OK」

GPS

本端末のGPS機能と対応するアプリケーションを使用して、現在地の確認や目的地までの経路検索などを行うことができます。

- GPSシステムの異常などにより損害が生じた場合でも、当社では一切の責任を負いかねます。
- 本端末の故障、誤動作、または停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害については、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されていますので、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化、電波の停止など）されることがあります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。
  - 建物の中や直下
  - 地下やトンネル、地中、水中
  - かばんや箱の中
  - ビル街や住宅密集地
  - 密集した樹木の中や下
  - 高圧線の近く
  - 自動車、電車などの車内
  - 大雨、雪などの悪天候
  - 携帯電話の周囲に障害物（人や物）がある場合
  - 携帯電話のGPSアンテナ部周辺を手で覆い隠すように持っている場合

位置情報サービスを有効にする

位置情報を利用するサービスを使用するには、あらかじめGPS機能を有効にしておく必要があります。また、Wi-Fiやモバイルネットワーク基地局からの情報をもとに、おおよその位置情報を検出できるように設定することもできます。

GPS機能を有効にする

1. ホーム画面で[•••]▶「設定」▶「現在地情報とセキュリティ」
2. 「GPS機能を使用」にチェックを入れる▶「同意する」

無線ネットワークでの現在地検索を有効にする

1. ホーム画面で[•••]▶「設定」▶「現在地情報とセキュリティ」

❷「無線ネットワークを使用」にチェックを入れる▶「同意する」

おしらせ

- 同意すると、Googleの位置情報サービスにより個人を特定しない形で位置情報を収集します。位置情報の収集はアプリケーション起動の有無にかかわらず行われます。

Google マップを利用する

Google マップを利用して、現在地の表示や別の場所の検索、経路の検索などを行うことができます。

- Google マップを利用するには、3G／GPRSまたはWi-Fiで接続してデータ通信可能な状態にあることが必要です。
- あらかじめ位置情報サービスを有効に設定してください。→P.90
- Google マップは、すべての国や都市を対象としているわけではありません。

❶アプリケーション一覧画面で「マップ」

- はじめて起動したときは、マップの新機能を紹介する画面が表示されますので、「OK」をタップします。

■地図を拡大／縮小する

- 拡大：＋をタップ、2本の指の間隔を広げる、ダブルタップ（2回続けてタップ）
- 縮小：－をタップ、2本の指の間隔を狭める、2本の指でタップ

■現在地を表示する

▶「◉」

■場所を検索する

▶「地図を検索」▶検索する場所を入力▶「🔍」または検索候補をタップ

- 吹き出しをタップすると、詳細情報が確認できます。

■ストリートビューを見る

▶ストリートビューを表示したい地点をロングタッチ▶吹き出しをタップ▶「 」

- ストリートビューに対応していない地域もあります。

■レイヤを表示する

- 地図上に道路の渋滞状況などの情報を重ねて表示したり、航空写真に切り替えたりすることができます。

▶「 」▶表示したい項目をタップ

- 渋滞状況と路線図は提供地域が限定されています。

■地図をクリアする

- 表示されたレイヤや経路検索結果などをすべてクリアします。

▶「 」▶「地図をクリア」

経路を調べる

目的地への経路を表示することができます。

❶地図表示中に［▪▪▪］▶「経路」

❷上のテキストボックスに出発地を入力

❸下のテキストボックスに目的地を入力

- をタップして、連絡先の住所や地図上の場所を指定することができます。

❹移動手段（ （自動車）／ （公共交通機関）／ （徒歩））をタップ▶「経路を検索」

- 複数の経路が見つかった場合は、希望の経路をタップします。

ナビを利用する

目的地への音声ナビゲーションなどができます。

1 アプリケーション一覧画面で「ナビ」

・はじめてアプリケーションを起動した場合、Google マップ ナビ™の説明が表示されますので、「同意する」をタップしてください。

2 以下の項目から選択

目的地を音声入力……声で目的地を入力します。

目的地を入力……文字入力で目的地を入力します。

連絡先……連絡先に登録されている住所から目的地を入力します。

スター付きの場所……Google マップでスターを付けた場所から目的地を入力します。

・ナビゲーションが開始されます。

■ナビゲーションを終了する

▶[•••]▶「ナビの終了」

おしらせ

●走行中は必ずドライバー以外の方が操作を行ってください。

プレイスを利用する

現在地の情報から、近くのお店や施設を検索し情報を表示することができます。検索したお店などはGoogle マップの画面に表示することができます。

1 アプリケーション一覧画面で「プレイス」

2 検索したい施設などをタップ

・検索結果の一覧が表示されます。

3 目的の施設などをタップ

・詳細な情報が表示されます。

Latitudeを利用する

Google Latitude™を利用すると、地図上で友人と位置を確認しあったり、ステータスメッセージを共有することができます。また、メールやSMSを送ったり、電話をかけたり、友人の現在地への経路が検索できます。

●位置情報は自動的に共有されません。Latitudeに参加して自分の位置情報を提供する友人を招待するか、友人からの招待を受ける必要があります。

●Latitudeの詳細については、以下の操作でモバイルヘルプをご覧ください。
Latitudeの画面で[•••]▶「地図表示」▶[•••]▶「ヘルプ」▶「操作手順」▶「Latitude」

1 アプリケーション一覧画面で「Latitude」

ワンセグ

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声とともにデータ放送を受信することができます。また、より詳細な番組情報の取得や、クイズ番組への参加、テレビショッピングなどを気軽に楽しめます。
「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。
社団法人　デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp/

■ワンセグのご利用にあたって

- ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- データ放送領域に表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。
  「データ放送」は映像・音声とともに放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。

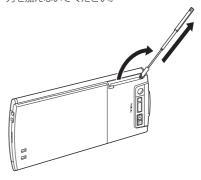
■放送波について

ワンセグは、放送サービスの1つであり、携帯電話サービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、携帯電話サービスの圏外／圏内にかかわらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- ・放送波が送信される電波塔から離れている場所
- ・山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- ・トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

受信状態を良くするために、ワンセグアンテナを十分伸ばしてください。また､アンテナの向きを変えたり、場所を移動したりすることで受信状態が良くなることがあります。

■ワンセグアンテナについて

- ワンセグアンテナの方向を変える際は、無理に力を加えないでください。

おしらせ

- ワンセグアンテナを収納するときは、先端を持って無理に収納しないでください。破損の原因となります。止まるところまでまっすぐ押し込み、ワンセグアンテナを倒して収納してください。

ワンセグを見る

1 アプリケーション一覧画面で「テレビ」

- テレビメニュー画面が表示されます。
- はじめてワンセグを起動したときは、チャンネルを設定する必要があります。→P.94

2 「視聴」

■音量を調整する

▶ボリュームキーを押す

■字幕や音声の設定を行う

▶[•••]▶「字幕／音声」

チャンネル設定をする

1 テレビメニュー画面で「視聴」

2 [•••]▶「エリア切替」

3 エリアをタップ

- 登録済みのエリアを選択すると、選択したエリアに切り替え、ワンセグを視聴します。

4 「OK」▶エリアの地方、都道府県、地域をタップ

- チャンネルをスキャンし、チャンネル情報を登録します。

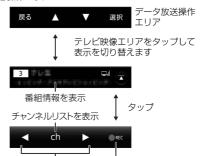
5 「OK」

ワンセグ視聴画面の見かた

縦画面表示にするとデータ放送が表示されます。

①テレビ映像エリア
- 左右にフリックしてチャンネルを選局
- ロングタッチしてチャンネルリストを表示

②データ放送エリア

③操作エリア

番組表を利用する

地上波テレビやBSデジタル放送の番組表が閲覧できます。キーワードやジャンルによる番組検索や、ワンセグへの視聴・録画予約も可能です。

1 テレビメニュー画面で「番組表」

■ワンセグ視聴中の場合

ワンセグ視聴中に[•••]▶「番組表」

・はじめて番組表を起動したときは、利用規約に同意いただいた後、地域設定画面が表示されます。

視聴する番組を選ぶ

1 番組表で視聴したい番組をタップ▶「ワンセグ」▶「ワンセグ起動」

視聴や録画を予約する

ワンセグの視聴や録画を予約します。設定した日時にアラームで番組や録画の開始をお知らせします。

1 番組表で番組をタップ▶「ワンセグ」▶「ワンセグ視聴予約」／「ワンセグ録画予約」

2 各項目を確認▶「保存」▶「はい」

録画した番組を再生する

1 テレビメニュー画面で「録画番組の再生」

2 再生したい番組をタップ

・番組が再生されます。

・ワンセグ視聴画面同様、操作エリアから番組の操作を行います。→P.94

テレビリンクを利用する

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報（テレビリンク）が表示され、テレビリンクを登録しておき、あとで関連サイトに接続できます。

●テレビリンクを登録するには、データ放送エリアでテレビリンク可能な項目をタップします。

1 テレビメニュー画面で「テレビリンク」

2 リンク先をタップ▶「はい」

■テレビリンクを削除する

▶削除したいテレビリンクをロングタッチ▶「削除」▶「1件削除」／「全件削除」▶「はい」

ワンセグの設定を行う

1 テレビメニュー画面で「設定」

2 以下の項目から選択

データ放送設定

通信確認……通信を行う際に確認メッセージ表示の有無を設定します。

位置情報の利用……位置情報利用の有無を設定します。

端末情報の利用……端末情報利用の有無を設定します。

放送局メモリ削除……放送局メモリを削除します。

オフタイマー……ワンセグを自動的に終了するまでの時間を設定します。

製品情報……製品情報を表示します。

時計

1 アプリケーション一覧画面で「時計」

おしらせ

- をタップすると、バックライトのON／OFFを切り替えられます。
- をタップすると、microSDカードに保存されている静止画がスライドショーで表示されます。[←]をタップするとスライドショーが停止します。
- をタップすると、「音楽」アプリケーションが起動して、音楽を再生できます。→P.83

アラームを設定する

1 時計表示中に「 」

・[▪▪▪]▶「設定」で「マナーモード中のアラーム」、「アラーム音量」、「スヌーズ間隔」、「ボリュームキーの動作」の設定ができます。

2 「アラームの設定」

3 アラーム時刻を設定▶「設定」

4 以下の項目から選択

アラームをオンにする……アラームが動作するよう設定します。

時刻……アラーム時刻を設定します。

繰り返し……曜日ごとに、同じ時刻にアラームが鳴るように設定します。

アラーム音……アラーム音を設定します。

バイブレーション……アラーム音と同時にバイブレーションするように設定します。

ラベル……設定したアラームにラベルを付けます。

・アラームが鳴ったら、「停止」をタップしてアラームを止めます。「スヌーズ」をタップすると、「スヌーズ間隔」の設定で、再度アラームが動作します。

5 「完了」

カレンダー

本端末のカレンダーと、Googleなどオンラインサービスのカレンダーを同期させて、スケジュールを管理できます。

・あらかじめGoogle アカウントを設定する必要があります。→P.41

1 アプリケーション一覧画面で「カレンダー」

■カレンダー表示を切り替える
▶[•••]▶「日」／「週」／「月」

予定を作成する

1 カレンダー表示中に予定を入れる日時をロングタッチ▶「予定を作成」

2 各項目を設定▶「完了」

おしらせ

●通知を設定した時刻になると、ステータスバーに[1]が表示されます。通知パネルを開いて内容を確認できます。「通知を消去」をタップすると通知が消去され､「すべてスヌーズ」をタップすると5分後に再度通知します。

予定リストを確認する

1 カレンダー表示中に[•••]▶「予定リスト」

■予定を変更／削除する
▶変更したい予定をタップ▶[•••]▶「予定を編集」／「予定を削除」

カレンダーの設定を変更する

1 カレンダー表示中に[•••]▶「その他」

2 「設定」▶必要に応じて設定を変更する

・予定の通知方法や着信音／バイブレーション、リマインダーの事前通知の設定が行えます。

■Google カレンダー™などのデータと同期する
▶「カレンダー」▶表示するカレンダーのアカウントをタップして､「同期､表示」にする▶「OK」

電卓

1 アプリケーション一覧画面で「電卓」

- 左右にフリックして､｢関数機能｣と｢四則演算｣を切り替えることができます。
- 数式表示欄をロングタッチして、数式のコピー／貼り付けができます。
- 「CLEAR」をタップすると、入力した数値や演算子が削除され、ロングタッチすると数式をすべて消去します。
- ^、v をタップすると、数式の履歴を表示することができます。

Quickoffice

microSDカードに保存されているドキュメントをQuickofficeで表示、編集します。次のファイルを開くことができます。

- Excel（Excel 97～Excel 2010）：xls、xlsm、xla、xlam、xlt、xltm、xlsx、xltx
- Word（Word 97～Word 2010）：doc、docx、docm、dot、dotx、dotm
- PowerPoint（PowerPoint 97～PowerPoint 2010）：ppt、pptx、pot、pptm、ppsm、potx、potm、ppsx
- Acrobat（Acrobat 5～9）※：pdf
- TEXT：txt

※編集は不可

1 アプリケーション一覧画面で「Quickoffice」

海外でご利用になる前の確認

海外で本端末を利用する際は、日本国内で次の確認をしてください。

■ご契約・料金について
UIMカードの販売元に利用条件、料金についてお問い合わせください。

■充電について
- 海外旅行で充電する際のACアダプタは、付属のACアダプタ N102Aをご利用ください。また、渡航先に適合した変換プラグアダプタをご準備ください。

海外で利用するためのネットワークの設定

お買い上げ時は、自動的にネットワークモードや通信事業者を検出して切り替えるように設定されていますが、手動で切り替えることもできます。

1 ホーム画面で[•••]▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」

■ネットワークモードを設定する
▶「ネットワークモード」▶以下の項目から選択

WCDMAのみ……3Gネットワークを利用します。

GSMのみ……GSMネットワークを利用します。

自動（WCDMA／GSM）……利用できるネットワークを自動的に切り替えます。

■通信事業者を設定する
▶「ネットワークオペレーター」▶「自動選択」または利用したい通信事業者のネットワークをタップ
- 「ネットワークモード」の設定により、表示される通信事業者名は異なります。

■データローミングを有効にする
▶「データローミング」にチェックを入れる▶「OK」

アクセスポイントを切り替える

UIMカードの販売元にお問い合わせの上、アクセスポイントの切り替えを行ってください。

■アクセスポイントの切り替え方法→P.39

滞在先で電話をかける／受ける

滞在国外（日本を含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在国から他の国へ電話をかけることができます。

1. **アプリケーション一覧画面で「電話」**
2. **+（「0」をロングタッチ）▶国番号▶地域番号（市外局番）▶電話番号を入力**
   - 地域番号（市外局番）が「0」ではじまる場合は、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。
3. **「 」**

国際ダイヤルアシスト設定を利用する

滞在国から他の国へ電話をかける場合、「国際ダイヤルアシスト設定」で登録した国に簡単に国際電話をかけることができます。

- あらかじめ「国際ダイヤルアシスト設定」を行う必要があります。→P.100
- 電話番号が「0」ではじまる場合のみ有効です。

1. **アプリケーション一覧画面で「電話」▶電話番号を入力▶「 」**
2. **「発信（XX）」（XX：国・地域名称）**
   - 「+」と「国番号」が追加されて国際電話がかかります。

■国際ダイヤルアシスト設定を行う

1. **ホーム画面で［•••］▶「設定」▶「通話設定」▶「国際ダイヤルアシスト設定」**
2. **以下の項目から選択**

自動変換機能設定……国際電話をかけるとき、国際ダイヤルアシスト設定を利用して電話をかけるかどうかを設定します。

国番号設定……国際ダイヤルアシスト設定を利用するときに使用する国・地域名称と国番号を登録します。

滞在国内に電話をかける

日本国内で電話をかける操作と同様に、相手の一般電話や携帯電話の番号をダイヤルして電話をかけます。→P.55

滞在先で電話を受ける

海外でも日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

相手からの電話のかけかた

■日本から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルしてもらうだけで電話をかけることができます。

■日本以外から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先にかかわらず、国際アクセス番号+「81」（日本の国番号）をダイヤルしてもらう必要があります。

国際アクセス番号-81-90（または80）-XXXX-XXXX

トラブルシューティング（FAQ）

故障かな？と思ったら

- まずはじめにソフトウェアを更新する必要があるかどうかをチェックし、必要がある場合はソフトウェアを更新してください。→P.107
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、販売元へご相談ください。

■電源

本端末の電源が入らない	
●電池パックが正しく取り付けられていますか。	P.33
●電池切れになっていませんか。	P.35

■充電

充電ができない（お知らせLEDが点灯しない／点滅する）	
●電池パックが正しく取り付けられていますか。	P.33
●アダプタの電源プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていますか。	P.35
●ACアダプタ N102Aと本端末が正しく接続されていますか。	P.35
●PC接続用microUSBケーブル（試供品）を使用する場合、パソコンの電源が入っていますか。	-
●充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇して、充電を停止する場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。	-

■端末操作

操作中・充電中に熱くなる	
●操作中や充電中、また、充電しながらカメラ機能やワンセグ視聴／録画などを長時間行った場合などには、本端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。	-
●カメラ機能やワンセグ視聴／録画を長時間行うと、本端末が温かくなり、カメラ／ワンセグが終了することがあります。しばらくたってから、カメラ／ワンセグをご利用ください。	-
電池の使用時間が短い	
●圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。 圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。	-
●電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。	P.35
●電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。 十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、販売元へお問い合わせください。	P.35
電源断・再起動が起きる	
●電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。	-

タップしたり、キーを押しても動作しない	
●本端末の電源が切れていませんか。	P.36
●正しくタッチパネルに触れていますか。	P.37
●画面ロックされていませんか。	P.36
●スリープモードになっていませんか。電源キーを押してスリープモードを解除してください。	P.36

タップしても正しく操作できない	
●手袋をしたままで操作していませんか。	P.37
●爪の先で操作したり、異物を挟んだ状態で操作したりしていませんか。	P.37
●ディスプレイに保護シートを貼っていませんか。保護シートの種類によっては、正しく操作できない場合があります。	P.37

タップしたり、キーを押したときの画面の反応が遅い	
●本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカード間で容量の大きいデータをやり取りしたときなどに起こる場合があります。	-

UIMカードが認識されない	
●UIMカードを正しい向きで挿入していますか。	P.31

時計がずれる	
●長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。 日付と時刻が「自動」に設定されているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。	P.71

■通話

着信音が鳴らない	
●マナーモードを設定中ではありませんか。	P.65
●着信音量が最小に設定されていませんか。	P.65
●近接センサーを指などで覆うと、着信音量が小さくなる場合があります。	P.30

の表示が出て電話がかけられない	
●サービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。	P.44

通話ができない（場所を移動してもの表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）	
●電源を入れ直すか、電池パックまたはUIMカードを入れ直してください。	-
●電波の性質により、を表示している状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。	-
●電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。	-

通話中、などが画面に表示されない／通話中、ディスプレイに何も表示されない	
●スリープモードを解除してもなどが表示されない場合、近接センサーが保護シートなどで隠れている可能性があります。近接センサーを隠さないようにしてください。また、スリープモードを解除して、またはをタップすると、などを表示させることができます。	P.30

■画面

ディスプレイが暗い	
●「バックライト消灯」で設定した時間が経過していませんか。	P.65
●ecoモードを設定していませんか。	P.66
●「画面の明るさ」の調整を変更していませんか。	P.65
●電池残量が少なくなっていませんか。	P.65

■音声

通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	
●通話音量を変更していませんか。	P.55
●受話口が保護シートなどでふさがれていませんか。	P.30
●受話口と耳の位置がずれていませんか。	P.30
通話中、自分の声が相手に聞こえない、聞こえにくい	
●送話口が保護シートなどでふさがれていませんか。	P.30
●送話口と口の位置がずれていませんか。	P.30

■カメラ

カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	
●カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。	-
●近くの被写体を撮影するときは、オートフォーカスを「接写」に切り替えてください。	P.81
●手ブレ補正が「OFF」になっていませんか。	P.81
●オートフォーカスを「AF OFF」で撮影していませんか。	P.81
●人物を撮影するときは、オートフォーカスを「顔検出AF ON」に切り替えてください。	P.81

■ワンセグ

ワンセグ視聴ができない	
●地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送電波の弱い場所にいませんか。	-
●チャンネル設定をしていますか。	P.94

■海外利用

海外で本端末が使えない（が表示されている場合）	
●UIMカード販売元へお問い合わせください。	-
●ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。 ・「ネットワークモード」を「自動（WCDMA／GSM）」に設定してください。 ・「ネットワークオペレーター」を「自動選択」に設定してください。	P.99
●本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。	-
海外でデータ通信ができない	
●「データローミング」の設定を有効にしてください。	P.99
相手の電話番号が通知されてこない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／連絡先の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	
●相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。	-

■データ管理

データ転送が行われない	
●USB HUBを使用していませんか。 USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。	P.86

■赤外線通信

連絡先のデータを全件受信できない	
●本体のメモリに空き容量はありますか。 受信中に保存先の空き容量が不足した場合は、それまでに受信したデータを保存し、受信を終了します。	-

■Bluetooth機能

Bluetooth通信対応機器と接続ができない／サーチしても見つからない	
●Bluetooth通信対応機器（市販品）側を機器登録待ち受け状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth 通信対応機器（市販品）、本端末両方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。	P.62

エラーメッセージ

UIMカードはPUKでロックされています。 ユーザーガイドを参照するか、お客様サポートにお問い合わせください。	
●PIN1コードがロックされているときに、電源を入れると表示されます。「緊急通報」をタップして、「＊＊05＊［PUKコード］＊［新しいPIN1コード］＊［新しいPIN1コード］#」と入力してください。	P.67
●PINロック解除コードがロックされているときに、電源を入れたりUIMカードに関係した操作をしようとしたときに表示されます。販売元までお問い合わせください。	P.67

保証とアフターサービス

保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・交換やその他お取り扱いによって連絡先などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、連絡先などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。また、本端末の交換などを行った場合、ダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により交換済みの本端末などに移行を行っておりません。

  ※本端末は、連絡先のデータをmicroSDカードにバックアップしていただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

本書の「故障かな?と思ったら」をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、販売元にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、本端末の不具合の場合

■保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で交換いたします。販売元へ商品と保証書を合わせて送付もしくはご持参ください。
- 保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶･コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料交換となります。
- メーカー指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料交換となります。

■保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料交換いたします。

■アフターサービス用端末の保有期間は

アフターサービス用端末の最低保有期間は、製造打切り後3年間を基本としておりますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、交換可能な場合がありますので、販売元へお問い合わせください。

お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - ・火災・けが・故障の原因となります。
  - ・改造が施された機器などの故障交換は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障交換をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - ・液晶部やキー部にシールなどを貼る
    - ・接着剤などにより本端末に装飾を施す
    - ・外装などを純正品以外のものに交換するなど
  - ・改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料交換となります。
- 本端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
  銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障交換をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の交換やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 本体を交換した場合には、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所：カメラ下部、スピーカー、受話口部、送話口部付近

メモリダイヤル（連絡先機能）およびダウンロード情報などについて

- 本端末を交換する際、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどは交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェアを更新する

本端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはソフトウェアをダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェアの更新が必要な場合は、販売元サイトもしくはメーカーサイト（MEDIAS NAVI）にてご案内させていただきます。

おしらせ

- ソフトウェアの更新は、本端末に登録された連絡先、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが､お客様の端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承願います。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承願います。

ご利用にあたって

- ソフトウェアの更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェアの更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- 次の場合はソフトウェアを更新できません。
  - ・ソフトウェアの更新に必要な電池残量がないとき
  - ・ソフトウェアの更新に必要なmicroSDカードの空き容量が十分でないとき
- ソフトウェアの更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア書き換え中は、電話の発信／着信など、その他の機能を利用することはできません（ダウンロード中は音声着信などが可能です）。
- ソフトウェアの更新の際には、サーバー（当社が管理するソフトウェアの更新用サーバー）へSSL／TLS通信を行います。
- すでにソフトウェアを更新済みの場合は、ソフトウェアの更新のチェックを行った際に更新の必要がない旨のメッセージが表示されます。
- ソフトウェアの更新の際、お客様の端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバー（当社が管理するソフトウェアの更新用サーバー）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェアの更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェアの更新に失敗した場合、書き換えが失敗した旨のメッセージが表示され、一切の操作ができなくなる可能性があります。その場合には、大変お手数ですが販売元へお問い合わせください。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中にて、PINコードを入力する画面が表示され､PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェアの更新中は、他のアプリケーションを起動しないでください。

ソフトウェアの更新を行う

パケット通信を使って更新する場合

本端末に直接ソフトウェアをダウンロードします。

1. **本端末にmicroSDカードを挿入する**
   - ・ソフトウェアのダウンロードはmicroSDカードを経由して行うため、あらかじめmicroSDカードを挿入しておく必要があります。
2. **ホーム画面で[•••]▶「設定」▶「端末情報」▶「メジャーアップデート」▶「更新を開始する」▶「ネットワークを利用して更新」**
   - ・このあとは画面の指示に従って操作してください。

おしらせ

- 次の場合はソフトウェアを更新できません。
  - ・圏外にいるとき
  - ・国際ローミング中
  - ・機内モード中
- ソフトウェアの更新は、電波が強く、アンテナマークが4本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。
  ※ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態のよい場所でソフトウェアの更新を行ってください。
- 3Gネットワークを利用してソフトウェアの更新を行う場合は、パケット通信料がかかります。パケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。

パソコンを使ってmicroSDカード経由で更新する場合

1. メーカーサイト（MEDIAS NAVI）から、パソコンを使ってmicroSDカードに更新するソフトウェアを取り込む
2. ソフトウェアを取り込んだmicroSDカードを本端末に挿入する
3. ホーム画面で[•••]▶「設定」▶「端末情報」▶「メジャーアップデート」▶「更新を開始する」▶「SDカードを利用して更新」
   ・このあとは画面の指示に従って操作してください。

ソフトウェアの更新が必要かどうかを確認する

更新が必要かどうかを定期的に自動で確認する

1. ホーム画面で[•••]▶「設定」▶「端末情報」▶「メジャーアップデート」▶「更新を定期的に確認する」
   ・チェックボックスにチェックマークを入れます。

更新が必要かどうかをいますぐ確認する

1. ホーム画面で[•••]▶「設定」▶「端末情報」▶「メジャーアップデート」▶「更新の確認」
   ・このあとは画面の指示に従って操作してください。

主な仕様

■本体

品名		NEC-102
サイズ		高さ約128mm×幅約64mm×厚さ約7.9mm （最厚部約9.7mm）
質量		約113g（電池パック装着時）
メモリ	ROM	1,024Mバイト
	RAM	512Mバイト
連続待受時間	3G	静止時（「自動」設定時※1）：約340時間
	GSM	静止時（「自動」設定時※1）：約220時間
連続通話時間	3G	約250分
	GSM	約250分
テザリング連続利用時間	3G	約210分
充電時間		ACアダプタ N102A：約170分
ワンセグ視聴時間		約300分
ディスプレイ	方式	TFT 262,144色
	サイズ	約4.0inch
	画素数	409,920画素（480×854ドット）
撮像素子	種類	CMOS
	サイズ	1/4.0inch
	有効画素数	約510万画素
カメラ部	記録画素数（最大時）	約500万画素
	デジタルズーム	最大約6.7倍
記録部	静止画記録枚数	microSDカード（2Gバイト）保存時：最大約9,999枚※2
	静止画連続撮影	撮影間隔0.04秒／0.1秒：5～25枚、撮影間隔0.5秒／1秒／2秒：5～100枚
	静止画ファイル形式	JPEG
	動画録画時間	microSDカード（2Gバイト）保存時：最大約1,162分※3
	動画ファイル形式	MP4
	ワンセグ録画時間	microSDカード（2Gバイト）保存時：最大約600分（合計）※4

音楽再生	WMAファイル	約1,000分※5
	MP3ファイル	約1,000分※5
無線LAN※6		IEEE802.11b/g/n（2.4GHz帯）準拠
Bluetooth	対応バージョン	Bluetooth標準規格 Ver.2.1+EDRに準拠※7
	出力	Bluetooth標準規格 Power Class 2
	見通し通信距離※8	約10m以内
	対応プロファイル	HSP,HFP,A2DP,AVRCP,OPP,PBAP,SPP

※1 ネットワークの接続切り替え設定は、「モバイルネットワーク」（P.60）で行います。
※2 サイズ＝VGA（640×480）、画質＝ノーマル（ファイルサイズ＝95Kバイト）の場合で、1フォルダに格納できる最大件数となります。
※3 以下の条件での1件あたりの録画時間です。
サイズ＝QCIF（176×144）、画質＝標準
※4 放送局、番組によって最大録画時間は異なります。
※5 バックグラウンド再生対応
※6 本製品の無線LANは、Wi-Fi認証を取得しています。
※7 本端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやり取りができない場合があります。
※8 周囲の環境（壁、家具など）や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。

■電池パック

品名	電池パック N102B
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	DC 3.8V
公称容量	1230mAh

携帯電話機の比吸収率（SAR）などについて

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種NEC-102の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.353W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。※2 キャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用する場合は、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。
総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
NECカシオモバイルコミュニケーションズのホームページ
http://www.n-keitai.com/lineup/sar/

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されました。国の技術基準については、平成23年10月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申されています。

Radio Frequency (RF) Signals

THIS MODEL PHONE MEETS THE U.S. GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.

Your wireless phone contains a radio transmitter and receiver. Your phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.* Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the output.

Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.74 W/kg, and when worn on the body, is 0.48 W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements). While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirement.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section at https://gullfoss2.fcc.gov/oetcf/eas/reports/GenericSearch.cfm after search on FCC ID A98-PUL1905.

For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and that positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.

Non-compliance with the above restrictions may result in violation of FCC RF Exposure guidelines.

----

* In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

FCC Regulations

This mobile phone complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
This mobile phone has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.
This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
Reorient or relocate the receiving antenna.

- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/ TV technician for help.

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

輸出管理規制について

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては、経済産業省へお問い合わせください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロード等により取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信等することはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- 「PictMagic／ピクトマジック」「Quick Shot／クイックショット」「MEDIAS／メディアス」「MEDIAS NAVI／メディアスナビ」「Tap search」はNECカシオモバイルコミュニケーションズ株式会社の商標または登録商標です。
- Microsoft®およびWindows®、Windows Media®、Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft® Exchange ActiveSync®は、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- T9®はNuance Communications, Inc.,および米国その他の国におけるNuance所有法人の商標または登録商標です。

- PhotoSolid®、MovieSolid®およびそのロゴマークは、株式会社モルフォの日本ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- 「Google」、「Google」ロゴ、「Android」、「Android」ロゴ、「Google Play」、「Google Play」ロゴ、「Gmail」、「Gmail」ロゴ、「Google トーク」、「Google トーク」ロゴ、「Google 検索」、「Google 検索」ロゴ、「Google 音声検索™」、「Google 音声検索」ロゴ、「Google マップ」、「Google マップ」ロゴ、「Google マップ ナビ」、「Google マップ ナビ」ロゴ、「Google プレイス™」、「Google プレイス」ロゴ、「Google カレンダー」、「YouTube」、「YouTube」ロゴ、「Google+」、「Google+」ロゴ、「Google Latitude」、「Google Latitude」ロゴ、「Picasa™」は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- Wi-Fi®、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi CERTIFIEDロゴおよびWi-Fi Protected SetupロゴはWi-Fi Allianceの登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED™、Wi-Fi Protected Setup™、WPA™およびWPA2™はWi-Fi Allianceの商標です。

- らくらく無線スタートはNECアクセステクニカ株式会社の登録商標です。
- 「Twitter」はTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- 「mixi」は株式会社ミクシィの登録商標です。
- 「Facebook」はFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- ATOKは株式会社ジャストシステムの登録商標です。

- andronavi、ついっぷるは、ビッグローブ株式会社の商標または登録商標です。
- Copyright© 2010 FUJISOFT Inc. All rights reserved
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品には、日本電気株式会社のフォント「FontAvenue」を使用しています。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Playerを搭載しています。
  Adobe Flash Player Copyright© 1996-2012 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Adobe、Flash、およびFlashロゴはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- BluetoothとそのロゴマークはBluetooth SIG, Incの登録商標で、NECカシオモバイルコミュニケーションズ株式会社はライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。

Windowsの表記について

- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft®Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

Adobe® Flash® Playerのご使用について

- 本製品に搭載されているAdobe® Flash® Player（以下「本ソフトウェア」といいます）は、著作権法によって保護されています。お客様は、本ソフトウェアを使用する際以下に掲げた事項をお守りください。

  ①本ソフトウェアを複製し頒布しないこと。
  ②本ソフトウェアを改変もしくは翻訳しないこと、または本ソフトウェアの二次的著作物を作成しないこと。
  ③本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイルもしくは逆アセンブルしないこと、または本ソフトウェアのソースコードの解明を試みないこと。
  ④本ソフトウェアの使用によって被った派生損害、間接損害、付随的損害、特別損害、または利益の喪失に対する賠償請求をしないこと。

GPL／LGPL適用ソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License（GPL）またはGNU Lesser General Public License（LGPL）に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPLまたはLGPLに従い、複製、頒布および改変することができます。
  GPLおよびLGPLの詳細は、ホーム画面で[•••]▶「設定」▶「端末情報」▶「法的情報」▶「オープンソースライセンス」を参照してください。

■ソースコードの入手方法

ソースコードの入手方法については、下記ウェブサイトにてご案内しています。
http://www.n-keitai.com/guide/download/
なお、ソースコードの内容等についてのご質問にはお答えいたしかねますので、予めご了承ください。

索引

あ

アカウント........................41
　設定........................68
　メールアカウント........................41
明るさ（画面）........................65
アクセスポイント........................39
アクセスポイント（海外）........................99
アダプタで充電........................35
アフターサービスについて........................105
アプリケーション
　アンインストール........................47
　一覧........................47
　一覧画面........................46
　インストール........................88
　購入........................89
　ショートカット........................42
　設定........................68
アラーム........................96
アラーム音量........................65
アンインストール（アプリケーション）........................47
暗証番号........................67
安全上のご注意........................6

い

位置情報サービス........................90
インストール（アプリケーション）........................88
インポート
　SMS........................75
　ブックマーク........................78
　メール........................72
　連絡先........................58

う

ウィジェット
　一覧........................48
　ショートカット........................42

え

エクスポート
　SMS........................75
　ブックマーク........................78
　メール........................72
　連絡先........................58
エラーメッセージ........................104

お

音（設定）........................65
主な仕様........................109
音声入出力（設定）........................70
音量........................65

か

海外で電話を受ける........................100
海外に電話をかける........................100
海外利用........................99
外部接続端子キャップの開閉........................24
顔文字入力........................53
各部の名称と機能........................29
壁紙の変更........................43
カメラ........................80
画面
　明るさ........................65
　拡大／縮小........................38
　画面ロック........................36
　画面ロックセキュリティ........................66
　設定........................65
　バックライト........................65

表示方向 37
カレンダー 97

き

キーボード
QWERTY 50
設定 70
テンキー 50
記号入力 53
機内モード 60
ギャラリー 82
緊急通報 55

け

ケータイ入力 52
言語（設定） 70
現在地情報（設定） 66
検索
Google 検索 49
ウェブページ内 77
検索（設定） 69

こ

購入（アプリケーション） 89
国際ダイヤルアシスト設定 100
国際電話を受ける 100
国際電話をかける 100
故障かな？と思ったら 101

さ

再生
音楽 83
静止画 82
動画 82
ワンセグ 95

し

ジェスチャー入力 52
時刻設定 71
視聴予約 95
充電 34
アダプタ 35
パソコン 36
商標 114
初期化（端末） 69
初期設定 39

す

ステータスアイコン 44
ステータスバー 44
ストリートビュー 91
スライド 38
スリープモード 36

せ

静止画撮影 82
赤外線通信 85
セキュリティ（設定） 66
設定メニュー 60

そ

ソフトウェアの更新 107

た

タスク管理 50
タッチパネル操作 37
タップ 37
タップサーチ 49
端末情報 71

ち

知的財産権 114
着信音
　Gmail 75
　SMS 76
　電話 65
　メール 73
着信音量 65
着信拒否 56
着信履歴 57
チャット 76
チャンネル設定 94

つ

通知アイコン 44
通知音 65
通知パネル 45
通話音量 55
通話設定 64
通話保留 55
通話履歴 57

て

データローミング（海外） 99
テレビ 93
テレビリンク 95
テンキーキーボード 50
電源ON／OFF 36
電卓 98
電池パック 33
電話帳（連絡先） 58
電話番号確認（自分） 58
電話を受ける 56
電話を受ける（海外） 100
電話をかける 55
電話をかける（海外） 100

と

動画撮影 82
同期（設定） 68
時計（アプリケーション） 96
時計設定 71
ドラッグ 38
トラブルシューティング 101
取り扱い上のご注意 18

な

ナビ 92

に

入力方式切り替え（文字） 52

ね

ネットワーク（設定） 60
ネットワークオペレーター（海外） 99
ネットワークモード（海外） 99

は

パーティシャッフル 83
バイブレーション
　Gmail 75
　SMS 76
　電話着信 65
　メール 73
パソコン接続 86
パソコンで充電 36
バックライト 65
発信履歴 57
番組表 95

ひ

比吸収率（SAR）………111
日付設定………71
表示（設定）………65

ふ

フォーマット（microSDカード）………69
フォルダ（ホーム画面）………43
付属品………1
ブックマーク………78
プッシュ信号………55
プライバシー（設定）………69
ブラウザ………77
フリック………38
フリック入力………52
プレイス………92
プレイリスト（音楽）………84
プロフィール………59

ほ

防水性能………23
ホーム画面………42
保証について………105

ま

マイプロフィール………58
マナーモード………65

み

水抜き………27
ミュージックプレイヤー………83

む

無線（設定）………60

め

メール
　Gmail………73
　SMS………75
　メール………72
　メールアカウント………41
メジャーアップデート………107
メディア再生音量………65

も

文字入力………50
モバイルネットワーク………60
モバイルネットワーク（海外）………99

ゆ

ユーザー補助（設定）………71
輸出管理規制………114

よ

予約（ワンセグ）………95

り

リアカバーの取り付け／取り外し………25

れ

連絡先………58

ろ

録画予約………95
ロック解除セキュリティ………66
ロングタッチ………37

付録／索引

わ

ワンセグ 93

英字

ACアダプタで充電 35
Bluetooth
設定 62
通信 86
通話 55
ecoモード 66
Gmail. 73
Google Play 88
Google トーク. 76
Google マップ. 91
GPS. 90
Latitude 92
microSDカード 32
取り付け／取り外し. 32
パソコン操作. 86
フォーマット. 69
容量 69
PC Link 87
PIN1コード 67
PIN1コード入力設定 67
PIN設定 66
PINロック解除コード 67
PUKコード. 67
Quickoffice. 98
QWERTYキーボード 50
SAR（比吸収率） 111
SMS 75
T9入力. 52
UIMカード 31
USB PC Link 87
VPN. 64
Wi-Fiアクセスポイント 63
Wi-Fi設定 40, 61

お問い合わせ先：販売元へお問い合わせください
保証責任、保証履行：NECカシオモバイルコミュニケーションズ株式会社
http://www.n-keitai.com/guide/

'12.5（2版）